

平成28年度第2回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成28年6月14日（火）15：00～16：15

場 所：校友会館2階 サロン

議 題：

1. SPOD事業評価について

- ・平成27年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について 【資料1－1】P1
- ・平成27年度SPOD事業の評価について 【資料1－2】P3
- ・各委員からの事業評価シート 【参考資料1－1】P7
- ・SPODホームページ SD用語解説 【参考資料1－2】P13

2. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2016実施要項 【資料2－1】P15
- ・SPODフォーラム2016プログラム 【資料2－2】P16
- ・SPODフォーラム2016チラシ 【資料2－3】P17
- ・SPODフォーラム2016シンポジウム実施要項（案） 【資料2－4a】P19
- ・SPODフォーラム2016シンポジウムシラバス（案） 【資料2－4b】P20
- ・SPODフォーラム2016展示スペース等の設置について（案） 【資料2－5】P21
- ・SPODフォーラム2016アンケートフォーム（事前）（WEB用）（案） 【資料2－6】P22
- ・SPODフォーラム2016アンケートフォーム（事後）（個別）（案） 【資料2－7】P27
- ・SPODフォーラム2016アンケートフォーム（事後）（WEB用）（案） 【資料2－8】P28
- ・SPODフォーラム2016ポスターセッション申込み一覧 【資料2－9】P30
- ・SPODフォーラム2016ポスター発表募集要項 【参考資料2】P31

3. SPOD内講師派遣について

- ・SPOD内講師派遣希望状況等一覧 【資料3】P34
- ・平成27年度SPOD内講師派遣アンケート結果 【参考資料3】P35

4. 平成28年度SPOD事業達成度について

- ・平成28年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧（案） 【資料4】P39
- ・平成27年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧 【参考資料4】P41

5. 新任教員研修の開催について

- ・授業設計ワークショップ実施要項 【資料5－1】P43
- ・授業デザインワークショップ実施要項 【資料5－2】P46

6. 平成28年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】について

- ・平成28年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】アンケート結果 【資料6】P52
- ・平成28年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】実施要項 【参考資料5－1】P63
- ・教育学術新聞（平成28年5月11日付 写） 【参考資料5－2】P64

平成27年度SPOD事業評価委員会からの

指摘事項に対する対応策について (案)

■平成27年度事業評価委員会からの指摘事項のポイント

1. FD・SDに関する調査・研究の実質化

- ・職員がSPODの研修を受けて、具体的にどのような業務で成果を挙げることができたか、何を改革することができたかを検証してはどうか。
- ・研究テーマにある連携の効果や組織変容の検証はFDであれ、SDであれ、重要なポイントである。

2. 「SPOD将来構想」の具体化

- ・SPOD内講師派遣の今後のあり方について
- ・FD重点化の方向性について
- ・SD義務化の法制化を踏まえたSPOD内での「SD」の規定の再考について

3. SPOD事業・運営の各加盟校の関わりについて

- ・各加盟校の自律（立）的運営への促進のためのFD担当者養成，SDC養成は引き続き重要な課題である
 - コア校（国立4大学）ネットワークに加盟校がぶら下がるような階層構造を生むといった懸念もある。
 - SPODにとっては四国全体で連携することがテーマとなるのであろうが、それ自身十分広域的であり、4国立大学が各県の拠点として機能せざるをえない面があるのではないか。
- ・コア校以外の加盟校，私立大学の関わりが見えづらい。

■今後の対応について

1. FD・SDに関する調査・研究の実質化

平成27年度まで，FD，SD各専門部会で組織変容等の調査・研究内容を検討してきたが，今年度以降，調査・研究の内容について再度検討し，調査・研究を進める。

- (1) 平成28年度中に，これまでの年次報告書における各大学の報告内容をもとにSPOD事業（FDおよびSD）の効果をまとめて，SPODフォーラムのポスターセッション，大学教育学会課題研究集会，京都大学大学教育研究フォーラムなどの学会・研究会等での報告を目指す。本取組では，FD専門部会で高知大学が中心となって検討している組織変容に関する調査研究を発展させて実施することを検討する。
- (2) SD専門部会では大学行政管理学会等での報告を促進する。

2. 「SPOD将来構想」の具体化

平成27年度総会で了承された「SPODの将来構想」で決定した方針のうち，SPOD内講師派遣，FDの焦点化等今後の具体的な方針について，コア運営協議会，SPOD将来構想ワーキンググループ等で中長期的に議論を進める。また，SDの義務化に伴い，SPODの中での「FD」および「SD」の規定の再考について改めて検討する。

- (1) SPOD内講師派遣について、継続的に講師養成（講師の内製化）を行う。また、プログラムの見直しを行い、複数講師が担当できるプログラムを増やす。
- (2) FD担当者研修を提供することにより、各大学におけるFD担当者への支援を充実させる。
- (3) FD及びSDの義務化に対応するため、SPODにおけるFD及びSDの整理を進める。
- (4) 長期的方針として記載した「安定的な財政基盤を維持する」という項目を踏まえ、SPOD加盟校以外の参加者の研修料の見直しなどについて検討する。

3. SPOD事業・運営の各加盟校の関わりについて

SPOD事業の実施、運営にあたっては、ネットワーク規約等に基づき、コア校が中心となってSPOD事業を実施している。なお、各加盟校がSPOD事業やSPODの枠組みを積極的に利用し、主体的に取り組んでいる事例を発信していく。

- (1) SDのレベルⅠ研修やSPODフォーラムのSDプログラムでは、コア校以外の職員が講師を担当している。次世代リーダー養成ゼミナールの修了生などが講師を担当する事例など、コア校以外の職員が研修講師を担当しているような事例を広く発信していく。
- (2) 引き続きSDCの輩出を促進する。
- (3) FD担当者研修を提供することにより、各大学におけるFD担当者への支援を充実させるとともに、講師派遣においてもコンサルテーションを紹介し、より主体的な研修を実施できるように支援する。

平成 27 年度 S P O D 事業の評価について（案）

S P O D では、毎年度事業評価を行い、次年度の事業に活用することとしている。

このたび、平成 27 年度事業について、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（S P O D）事業評価委員会委員から活動報告書及びヒアリングをもとに評価をいただいた。

各委員からは、S P O D 事業の中長期的方針や四国 4 県での S P O D フォーラム持ち回り開催の決定、S P O D 内講師の活用等により様々な事業を継続していること等について高い評価をいただいた。一方で、研修を受講したことによる受講者本人への効果や組織等への波及効果の検証が求められた。各委員からの主な意見は以下のとおり。

【1】活動計画及び活動実績について

① F D

（強み）

【新任教員研修】

- ・ 国立 4 大学の新任教員研修が体系化されていること。
- ・ 新任教員研修プログラムは標準化されており、コア校のどちらにおいても同様の効果が得られるようにされている。
- ・ 新任教員研修プログラムの標準化と展開。

【各種プログラム】

- ・ アクティブ・ラーニングや I C T 活用の教育手法についての研修が行われていることは、現在の大学教育にとっては大変重要なことと考える。
- ・ 「アクティブ・ラーニング」「I R」「障がい学生支援」等、時節に応じたコンテンツの提供。
- ・ 「高等教育のプロフェッショナルを輩出する」という明確な目標を掲げ、単発のイベント開催にとどまることなく、体系的に各種 F D プログラムを提供している点、それらのプログラムが多彩である点が素晴らしい。
- ・ これまで実施されてきているプログラムを継続的に展開できている組織的な基盤。

（弱み）

【ティーチング・ポートフォリオ】

- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの参加者の満足度は高いが、参加者数が少ない。開催校も愛媛大学と徳島大学に限られており、加盟校への広がりが見えない。愛媛県立医療技術大学での講師派遣研修では 35 名の参加があり、ニーズがないわけではないと思われる。大学がティーチング・ポートフォリオをどのように位置づけるのか考え方に温度差があるのではないかと。

【私立大学教員の F D】

- ・ 全国的な状況からすれば弱みといえないと思うが、これまでの S P O D の実績からして、学力がボリュウムゾーンにある私立大学の教員の F D について研究・研修を深めていただきたい。

【S D との関係性】

- ・ いわゆる教授能力の向上にとどまらないコンテンツの提供もなされ始めているようだが（例えば会議マネジメント等）、職員研修（従来の S D）との関係を整理する必要があるかもしれない。

【F D 事業全般】

- ・将来構想WGにおいて事業見直しの検討へ着手し、FDプログラムをSPODフォーラムに集約、FD担当者（FDファシリテーター？）の養成支援など、各大学でFDが自律（立）的に行われていくような布石を打ったことは、「Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education」にある「Network」の形成に資するものとなっていく可能性がある。しかしながら、コア校（国立4大学）ネットワークに加盟校がぶら下がるような階層構造を生むといった懸念もある。

②SD

（強み）

【新任職員研修】

- ・新任職員研修を複数の大学からなるコンソーシアムで実施することにより、大学の設置形態を越えた職員間のネットワーク構築に役立てようという発想はよくあり、他の組織でも取り組まれているものである。SPODではこのプログラムの講師を加盟校の教職員が担当している。これは講師養成をSPOD事業の中に組み込んでいるからであり、他の組織ではなかなかできていないことである。高等教育の専門家に任せて終わりがちな講師活動を、職員が担うことにより本人の「教える技術」や「フィードバック法」のスキルアップを図っているのみならず、職員の経験が盛り込まれた研修は受講者にとっても良質なものになっていると思われる。SDC資格認定も実施し、職員にこうしたことにチャレンジさせている点はSPOD事業のもっともすぐれた点である。
- ・新任職員研修プログラムの継続と、更新（見直し）の実施。

【大学人・社会人としての基礎力養成講座】

- ・SPOD設立8年目を契機に、当初作成したカリキュラムマップや到達目標を見直すため、「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」見直しワークショップを開催し、新たなプログラムを作成したことは評価できる。
- ・階層別プログラムになっていること。

【SD事業全般】

- ・設置形態を超えた取り組みになっていること。
- ・国際化や、社会（地域）連携といった新たなプログラムの追加。
- ・修了生が、次の機会に講師となるよう、持続的な発展のできるサイクルをつくっていること。

（弱み）

【SPOD－SDC，講師養成講座】

- ・SPOD－SDC資格認定者については、H23年からH27年までに13名の認定者を出したものの、愛媛大学が12名を占め、他の大学に広がっていなかった点は残念である。四国の国立大学4校がコア校として中心的な役割を担っている形をとられているが、相当部分を愛媛大学の力量に頼りがちな運営実態となっているのではないか。
- ・各加盟校において学内研修の講師を担う者（職員）が現れているということで、SD講師養成講座の成果とすることは理解できる。各大学でSDが自律（立）的に行われていくことをねらっているとされるものの、講座の内容がマイクロティーチングなのであれば、FD（特に新任研修）との関係を再考しても良いかもしれない。

- ・SDに対する考え方（アプローチ）の違いがあると思われるので、言及するのはこれで最後にするが、「講師」養成という捉え方にはやはり違和感を覚える。

【SD事業全般】

- ・学生実態の把握についてのプログラムが見当たらないこと。多くの大学の職員の業務実態を見ると、国や社会の動向を一定程度視野に入れたり、ルーチンワークの高度化には力がそそがれるようになってきた。しかし、多くの場合、全国的な学生の状況や自大学の学生の定量的・定性的な実態を踏まえた仕事にはなっていない。現場レベルでの具体的事例を取り入れた、学生実態把握の方法論の研修があれば、実際の業務改革につなげていくことができるようになると思われる。
- ・将来構想WGにおいて「SD義務化などの政策へ対応する」という検討もあったようだが、第42回大学教育部会（2016.02.17）配付資料（資料3-2）であるように、『「職員」には、事務職員だけでなく、教員や技術職員を含む。』というのが大学設置基準等の改正ポイントである。SPODでは、ウェブサイトでSDを規定してきたが（中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」用語解説）、再考の必要性が生じるのではないだろうか。

③組織運営等

（強み）

【中長期的方針の策定】

- ・将来構想WGでの検討が開始され、SPODの将来構想案が取りまとめられたこと。平成35年度までの長期的な方針（5項目）と平成29年度までの中期的な方針（3項目）が、ツリー構造で策定されたことにより、運営の方向性や取組みに関する評価を行いやすくなるはずである。

【SPODフォーラム】

- ・SPODフォーラムを四国各県で持ち回り開催することについて決定されたこと。
- ・SPODフォーラムは非加盟校からも多くの参加者を集め、国内最大規模のFD・SDの研究交流の機会となっている。扱われるプログラムも多彩であり、このような場を全国に解放されていることは評価できる。また、全国に解放しつつも、参加者の過半数を加盟校が占めていることも大いに評価できる。

【SPOD事業全般】

- ・『SPOD事業の定量的指標達成度一覧』の作成。
- ・四国内のほとんどの高等教育機関が参加していること。
- ・コア校は、会議開催や事業実施に際して、可能な限り一校集中を避けようと努めていること。

（弱み）

【コア校とコア校以外の加盟校とのバランス】

- ・私立大学の主体性が不十分なこと。コンソーシアム京都は私立大学が中心となって活動をしているが、SPODの場合は国立大学が中心である。コンソ京都とSPODはその活動について趣を異にする点もあることや京都は有力な私立大学が多いことなどの条件もある。しかし、学力中間層を多く抱える四国の私立大学は、個別大学だけで教育改革を推進しようとしても極めて困難なはずである。全国にも極めてまれな、SPODという協働の場があるのだから、私立大学の

主体的な参加を促す取り組みができれば、SPOD自体の活動も一層発展すると考える。

- ・結果的にコア校（国立4大学）ネットワークとなっているように思われること。加盟校のコメント（想い）が事業評価委員には見え難い。失礼な表現かもしれないが、供給するコア校と消費する加盟校といったバランスになっている感は否めない。前述したが、SPODをネットワーク・モデルとして捉え直していくことは今後に期待される。
- ・各加盟校自身の自律的運営の促進のためには、各校におけるFDerやSDCの養成が引き続き重要な課題となるであろう。また、SPODにとっては四国全体で連携することがテーマとなるのであろうが、それ自身十分広域的であり、4国立大学が各県の拠点として機能せざるをえない面があるのではないか。その方面も模索されたら、いかがであろう。

【2】次年度実施に向けての提案

【調査研究】

- ・SPODの取組を受けた教員の満足度も重要な指標であるが、それらの教員の教育を受けた学生の満足度や学生の成長度合いを測ることのできる指標の研究もできないだろうか。
- ・職員については、SPODの研修を受けて、具体的にどのような業務で成果を挙げることができたか、何を改革することができたか、を検証することができるかどうか。これができるようになれば、SPODのSDは一層評価を高めることになると思う。
- ・H27年度計画では調査研究プロジェクト事業があげられていたが、総括の中では触れられていない。研究テーマにある連携の効果や組織変容の検証はFDであれ、SDであれ、事業評価の重要なポイントであるから、適切な体制と予算を配分し、調査に取り組むことには意義があると思われる。本来であれば、H35年度長期計画を策定するにあたっての基礎的な調査に位置付けられれば良かったと思われる。

【SPOD事業全般】

- ・SPOD将来構想ワーキンググループを開催し、平成35年度までの長期的方針が決定されている。SPOD内講師派遣は加盟校のニーズも高いように思われるが、「既存のFD／SDプログラムをSPODフォーラムに集約する」ことにより、SPOD内講師派遣は廃止に向かうのであろうか。一方、H29年度までの中期的方針においては、SDプログラムの体系的実施を行うとされ、その充実の方向性が具体化されているが、FDの重点化の方向性はあまり見通せていないように見える。SDにおいて、とりわけ職務別能力養成プログラムが体系化されようとしていることに注目したい。
- ・SPOD将来構想案が示されたことにより、各事業の見直し（分類等）については行われなれないと思われるが、前述した通り、SDに関する対象が再考されれば、SPODにおけるFD／SDの考え方にも影響が及ぶと考えられる。SPODの創業メンバーにあわせた事業分類であったことは明らかであり、SPODの第二期を描くためには大胆に刷新していくことも重要であろう。

【事業評価】

- ・事業年度ごとの予算・決算状況も報告書に記述し、事業評価の指標に組み込むべきであろう。また、加盟校の教職員数に対する事業参加者数の割合も事業評価の指標とすることを検討してはどうか。
- ・事業評価委員会の運営方法等について見直す必要があるかもしれない。

SPODフォーラム2016の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

（後援）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

（日時・会場）

日時 平成28年8月24日（水）～ 8月26日（金）

会場 愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B, 総合教育棟1, 南加記念ホールほか

（全体テーマ）

経験を学びに変える

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
 - ※SPOD加盟校の参加者を優先する。
 - ※民間企業に勤務している方の参加はお断りする。

（研修料）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員 無料
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
7,000円

（内容）

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

（今後のスケジュール（予定））

4月25日（月）	各コア校が担当するコマのタイトル・講師等の提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
5月17日（火）	ポスターセッション申込開始
5月20日（金）	シラバスの提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
6月上～中旬	案内チラシ作成
6月14日（火）	ネットワークコア運営協議会においてプログラムの最終確認
6月14日（火）	ポスターセッション申込締切
6月中～下旬	案内文書送付（SPOD加盟校を含む全国の大学）
6月23日（木）正午	SPOD加盟校向け参加申込開始
7月 8日（金）正午	SPOD加盟校向け参加申込締切
7月11日（月）正午	SPOD加盟校外講師及びポスターセッション（代表者のみ）
7月12日（火）正午	参加プログラム申込
7月14日（木）正午	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み開始
7月28日（木）正午	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み締切
8月上旬	二次募集（応募状況による）
8月24日～26日	SPODフォーラム2016開催

SPODフォーラム2016開催スケジュール(案)

全体テーマ:「経験を学びに変える」

ワーク中心
講義・講義中心

定員

N!New!!

会場		A	B	C	D	E	F
建物名	教室名	共通講義棟B 1階	共通講義棟B 4階	共通講義棟B 4階	総合教育棟1 2階	総合教育棟1 3階	愛大ミュージアム 1階
教室名		CR1-1講義室	403講義室	404講義室	第一会議室	305講義室	アクティブ・ラーニングスペース2
8月24日(水)	9:00	受付(共通講義棟B 1階 学生談話室)					
	10:00 - 12:00	SD N 2401A 社会連携系職員養成 プログラムレベルI ◆ 地域特性 -地域課題の抽出と住民による解決に向けた企画形成づくり- 前田真(愛媛大学) グ 36	FD/SD 2401B 大学の危機管理 -事例から考えるハラスメント- 吉田一恵, 倉田千春(愛媛大学) グ 30	FD/SD N 2601Bから移動 2401C 大学職員の基礎力を考える 丸山智子(愛媛大学) グ 30	FD/SD 2401D 大学組織を理解する 中井俊樹(愛媛大学) 宮林常崇(首都大学東京) グ 60	SD N 2401E 大学における障害学生支援とは? -障害者差別解消法と合理的配慮- 坂井聡(香川大学) 講 90	FD N 2401F アイスブレイクの技法 加地真弥(愛媛大学) グ 30
	13:00 - 15:00	FD 2402A 理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン 榎原暢久(芝浦工業大学) 吉田博(徳島大学) グ 30	SD N 2402B 始めよう、仕事の整理と協働 次世代リーダー養成セミナー(6期生) 久保田祐歌(徳島大学) グ 24	FD/SD N 2402C 経験から学ぶ力を育てる 塩崎俊彦(高知大学) グ 40	FD 2402D 反転授業をやってみよう 金西計英(徳島大学) グ 50	SD N 2402E 教育・学修支援を担う図書館員の能力開発 -求められる知識・スキルを再考する- 井上真琴(同志社大学) 講 90	FD N 2402F 質問を変えると授業が変わる?!! 川野卓二(徳島大学) グ 36
	15:30 - 17:30	FD/SD N 2403A 知財リスク対応の基礎知識並びに知財人材育成の授業デザイン 木村友久(山口大学) グ 60	FD N 2403B クリティカルシンキングを促す課題設定をしよう 久保田祐歌(徳島大学) グ 30	FD N 2403C ルールブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- 侵野秀典(高知大学) グ 40	FD 2403D ルールブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- 侵野秀典(高知大学) グ 40	FD N 2403E 大人数講義法の基本 小林直人(愛媛大学) 講 90	FD/SD N 2403F 経験学習入門 高橋平穂(愛媛大学) グ 36
17:40 - 19:00		ポスターセッション 会場: 共通教育講義棟B 201講義室					
8月25日(木)	10:00 - 12:00	FD N 2501A 研究指導入門 -卒業作成を支援する- 近田政博(神戸大学) グ 50	SD N 2501B 学生対応の心得・入門編 -職員として気がかりな学生とどう向き合うか- 藤巻晃(徳島文理大学) グ 24	SD N 2501C 日常の経験知で仮説を立て、学内にあるデータを検証する -データを活用した予防的・開発的学 生支援をはじめよう- 杉田郁代(高知大学) グ 30	SD N 2501D 部下を育てる評価のコツ -自己理解と他者理解を踏まえて- 阿部光伸(愛媛大学) グ 40	SD N 2501E 国際連携系職員養成 プログラムレベルI ◆ 海外派遣入門 塩川雅美(梅光学院大学) 講 60	SD N 2501F コーチング入門 小林忠資(愛媛大学) グ 36
	13:00 - 15:00	FD N 2502A グラフィック・シラバスをしよう! 宮田政徳(徳島大学) グ 32	FD/SD N 2502B 思考プロセスの「見える化」と共有 -話し合いの生産性を高めよう- 吉田広毅(常葉大学) グ 30	FD 2502C 始めよう! アクティブ・ラーニング -協同学習・文庫作成の技法編- 西本佳代(香川大学) グ 28	FD/SD N 2502E トッブリダーセミナー 大学がハバナスとリーダーシップ 大場淳(広島大学) 司会 中井俊樹 講 90	FD N 2502F ディープラーニングに勝る アクティブ・ラーニングの手法 -物理化学の実験例より- 立川明(高知大学) グ 36	
	15:30 - 17:45	FD/SD N 2503G シンポジウム「経験を学びに変える教育と能力開発」 会場: 南加配記念ホール 日向野幹也(早稲田大学), 村山孝道(京都文教大学), 村田晋也(愛媛大学), 司会 小林直人					
	18:15-20:15	情報交換会					
8月26日(金)	10:00 - 12:00	FD/SD N 2601A 授業支援学生支援の基礎 -テキスト・教材の活用 宮城愛美(筑波技術大学) 講 30	SD N 2601B 研究支援職員としての基礎知識 -ゼロから始める研究者との協働- 宮内卓也(高知大学) ※本プログラムは9:15~12:15の時間で実施します。 グ 28	FD/SD N 2601C 教育データ解析入門 I & II 中山晃, 清水栄子(愛媛大学) グ 40	FD 2601D ルールブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- 侯野秀典(高知大学) グ 40	SD N 2601E 管理職・監督職のための リーダーシップセミナー 秦敬治(追手門学院大学) グ 90	FD 2601F 学生の学びやすさと 学習意欲を高める授業設計 -課題分析図の活用- 仲道雅輝(愛媛大学) グ 24
	13:00 - 15:00	FD/SD N 2602A 授業支援学生の主体性を 引き出す支援 -パソコン・ノート・デイクの 体験をとおして- 宇都野康子(筑波技術大学) 講 30	SD N 2602B ラウンドテーブル これからのSDを考える 久保秀二, 織田隆司(愛媛大学) グ 30	FD/SD N 2602D ラウンドテーブル 学生の経験を学びに変える 小林修(愛媛大学) グ 60			

合計38(FD13, SD11, FD/SD共通14, うち連続5)

◆を付したプログラム SPOT-SDマップに基づき開講されるプログラム

14(うち連続1)

13(うち連続1)

11(うち連続3)

※全体受付: 共通講義棟 B 1 階学生談話室 クローク, 物品庫: 共通講義棟 B 1 階演習室①

講師控室: 共通講義棟 B 3 階 3 0 2 講義室 展示・休憩スペース: 共通講義棟 B 3 階 3 0 3 講義室

SPODフォーラム 2016



経験を学びに変える

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムは… 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2016年 **8/24** (水) ▶ **26** (金) 愛媛大学 城北キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

参加申込

※事前申込制 (先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付 2016年6月23日(木)正午~7月8日(金)正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2016年7月14日(木)正午~7月28日(木)正午

申込みはWEBから

<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

参加費

SPOD加盟校の教職員

無料

SPOD加盟校以外の教職員

7,000円

※情報交換会費は除きます。

特徴

1

多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2

職場で使える
実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3

SDプログラムも
多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。

主な交通機関

※駐車スペースはありませんので、
公共の交通機関の利用をお願いいたします。

- JR松山駅から
- 伊予鉄道市内電車…環状線①(古町方面行き)「赤十字病院前」下車
 - 伊予鉄バス……………東西線「愛媛大学前」下車
- 松山市駅から
- 伊予鉄道市内電車…環状線②(大街道方面行き)「赤十字病院前」下車

—参加者の声—

- 教育に対するマクロな視点、講義進行のちょっとしたテクニックなどのミクロな視点まで、幅広く学べたため、自分の講義といま一度向き合うことができました。
- 普段の職務の中では気付きにくい職務上の改善点や発想転換のきっかけを、グループワーク研修を通して改めて学びなおすことが出来ました。
- 各プログラム、ポスターセッション等を通じて、情報交換・意見交換の機会が豊富にあり、自大学(自身)の取組を相対化できました。



お問合せ先

四国地区大学教職員能力開発

☎ 089-927-9154

トワーク事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

✉ E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

全体
受付

プログラムを受講する方は、必ず各自の受講初日に全体受付を済ませてください。

■場所：共通講義棟B 1階学生談話室 ■時間：8月24日(水)～26日(金) 9:00～



過去の
資料等は
こちら

会場	A	B	C	D	E	F
建物名	共通講義棟B 1階	共通講義棟B 4階	共通講義棟B 4階	総合教育棟1 2階	総合教育棟1 3階	愛大ミュージアム 1階
教室名	CRI-1講義室	403講義室	404講義室	社会共創学部会議室	305講義室	アクティブ・ラーニングスペース2

1日目
8月24日(水)

1	10:00 ～ 12:00	SD 2401A 社会連携系職員養成プログラム レベルI New!! 地域特性論 -地域課題の抽出と住民による解決に向けての合意形成づくり- 前田眞 (愛媛大学) ワーク 36名	FD・SD共通 2401B 大学の危機管理 -事例から考える ハラスメント- 吉田一恵, 倉田千春 (愛媛大学) ワーク 30名	FD・SD共通 2401C New!! 大学職員の基礎力を考える 丸山智子 (愛媛大学) ワーク 30名	FD・SD共通 2401D 大学組織を理解する 中井俊樹 (愛媛大学) 宮林常崇 (首都大学東京) ワーク 60名	SD 2401E New!! 大学における障害学生支援とは? -障害者差別解消法と合理的配慮- 坂井聡 (香川大学) 講義 90名	FD 2401F New!! アイスブレイクの技法 加地真弥 (愛媛大学) ワーク 30名
2	13:00 ～ 15:00	FD 2402A 理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン 梶原暢久 (芝浦工業大学) 吉田博 (徳島大学) ワーク 30名	SD 2402B New!! 始めよう、仕事の整理と協働 次世代リーダー養成セミナー (6期生) ワーク 24名	FD・SD共通 2402C New!! 経験から学ぶ力を育てる 塩崎俊彦 (高知大学) ワーク 40名	FD 2402D 反転授業をやってみよう 金西計英 (徳島大学) ワーク 50名	SD 2402E New!! 教育・学修支援を担う 図書館員の能力開発 -求められる知識・スキルを再考する- 井上真琴 (同志社大学) 講義 90名	FD 2402F New!! 質問を変えると授業が変わる?!! 川野卓二 (徳島大学) ワーク 36名
3	15:30 ～ 17:30	FD・SD共通 2403A New!! 知財リスク対応の基礎知識並びに知財人材育成の授業デザイン 木村友久 (山口大学) ワーク 60名	FD 2403C New!! クリティカルシンキングを促す課題設定をしよう 久保田祐歌 (徳島大学) ワーク 30名	FD 2403D ルーブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- 保野秀典 (高知大学) ※2601Dと同内容のため、どちらか一方の受講となります。 ワーク 40名	FD 2403E 大人数講義法の基本 小林直人 (愛媛大学) 講義 90名	FD・SD共通 2403F New!! 経験学習入門 高橋平徳 (愛媛大学) ワーク 36名	
	17:40 ～ 19:00	ポスターセッション 会場：共通講義棟B 2階 201講義室 見学自由(ポスター出展申込については、SPODホームページをご覧ください。)					

2日目
8月25日(木)

1	10:00 ～ 12:00	FD 2501A New!! 研究指導入門 -卒論作成を支援する- 近田政博(神戸大学) ワーク 50名	SD 2501B New!! 学生対応の心得・入門編 -職員として気かりな学生と どう向き合うか- 藤巻晃(徳島文理大学) ワーク 24名	SD 2501C New!! 日常の経験知で仮説を立て、 学内にあるデータを検証する -データを活用した予防的・開発的 学生支援をはじめませんか?- 杉田都代 (高知大学) ワーク 30名	SD 2501D New!! 部下を育てる評価のコツ -自己理解と他者理解を 踏まえて- 阿部光伸(愛媛大学) ワーク 40名	FD・SD共通 2501E 国際連携系職員養成プログラム レベル1 海外派遣入門 塩川雅美(梅光学院大学) 講義 60名	SD 2501F New!! コーチング入門 小林忠資(愛媛大学) ワーク 36名
2	13:00 ～ 15:00	FD 2502A グラフィック・シラバスを書こう! 宮田政徳(徳島大学) ワーク 32名	FD・SD共通 2502B New!! 思考プロセスの「見える化」と 共有 -話し合いの生産性を 高めよう- 吉田広毅(常葉大学) ワーク 30名	FD 2502C 始めよう!アクティブ・ラー ニング -協同学習・文章作 成の技法編- 西本佳代(香川大学) ワーク 28名	FD・SD共通 2502E New!! トップリーダーセミナー 大学ガバナンスとリーダーシップ 大場淳(広島大学) 講義 90名	FD 2502F New!! ディープラーニングに誘う アクティブ・ラーニングの手法 -物理、化学の実験例より- 立川明(高知大学) ワーク 36名	
3	15:30 ～ 17:45	FD・SD共通 2503G シンポジウム 南加記念ホール New!! 「経験を学びに変える教育と能力開発」 日向野幹也(早稲田大学) 村山孝道(京都文教大学) 村田晋也(愛媛大学) 司会:小林直人(愛媛大学) 200名					
	18:15 ～ 20:15	情報交換会 会場:愛媛大学 大学会館1階 会費:4,000円(事前申込み制)					

3日目 8月26日(金)	1 10:00～12:00	FD・SD共通 2601A New!! 視覚障害学生支援の基礎 -テキストデータ化の体験- 宮城愛美(筑波技術大学) 講義 30名	SD 2601B 研究支援職員としての基礎知識 -ゼロから始める研究者との協働- 宮内卓也(高知大学) ※本プログラムは9:15～12:15の3時間で実施します。 ワーク 28名	FD・SD共通 2601C New!! 教育データ解釈入門I&II 中山見、清水栄子(愛媛大学) ワーク 40名	FD 2601D ルーブリック評価入門 -考える、つくる、活用する- 保野秀典(高知大学) ※2403Dと同内容のため、どちらか一方の受講となります。 ワーク 40名	SD 2601E New!! 管理職・監督職のための リーダーシップセミナー 素敬治(追手門学院大学) ワーク 90名	FD 2601F 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計 -課題分析図の活用- 仲道雅輝(愛媛大学) ワーク 24名
	2 13:00～15:00	FD・SD共通 2602A New!! 聴覚障害学生の主体性を引き出す支援 -パソコンノート テイクの体験をとおして- 宇都野康子(筑波技術大学) 講義 30名	SD 2602B New!! ラウンドテーブル これからのSDを考える 久保秀二、織田隆司(愛媛大学) ワーク 30名	FD・SD共通 2602D New!! ラウンドテーブル 学生の経験を学びに変える 小林修(愛媛大学) ワーク 60名			

ワーク

主にグループワークやペアワーク等を中心としたプログラムです。

講義

主に講義を中心としたプログラムですが、グループワークやペアワーク等が含まれる場合もございます。

00名

プログラム定員

連続受講が

必須のプログラム

SPOD-SDマップに基づき
開講されるプログラム

SPOD フォーラム 2016 シンポジウム実施要項（案）

タイトル 「経験を学びに変える教育と能力開発」

登壇者 司 会：小林 直人（愛媛大学学長特別補佐／教育・学生支援機構教育企画室長）
 報告者①：日向野 幹也（早稲田大学大学総合研究センター教授）
 報告者②：村山 孝道（京都文教大学教務課長）
 報告者③：村田 晋也（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室講師）

◆プログラム概要

これまで、企業等における人的資源開発の分野では、経験や体験を学びに変える人材育成手法の効果性に広く注意が向けられてきました。また、この体験学習の手法は、学校教育においても以前から用いられてきました。とくに近年では、就職に先立ち、実社会で有用となる実践的な知識や能力を大学在学中に体得しておくよう求められていること等を背景に、大学においても様々な経験をし、そこで得た気づきを学びに変えること、またそうする力を会得することが学生に期待されています。他方で、「経験を学びに変える」と一口で言っても、その実際は多種多様であり、実践に際しては程度や効果を考慮しつつ、適切なものを選択的に用いる必要があることも事実です。

そこで、本シンポジウムでは、「経験を学びに変える教育と能力開発」というテーマを設け、これに取り組む大学や大学間連携事業の事例を考慮しつつ、大きく次の2つのアプローチからその現状と課題を共有することを目的とします。すなわち、(1)どのように学生の経験を主体的な学びに変えることができるか、(2)学生の学びを支援する教職員にはどのような能力開発が求められるかという2点です。具体的には、「学生の経験を学びに変えるための工夫」「経験をベースにした学習を進めていく上での課題と注意点」「経験を学びに変えるためにリフレクションをどのように用いるか」「教職員自身はどのように自分の経験を学びに変えることができるか」等の論点を検討することで、参加者諸氏の役に立つ情報の提供を目指します。なお、当日は3名のシンポジストによる実践事例の報告、その後、質疑応答及びパネル・ディスカッションを行う予定です。

◆日 時 平成28年8月25日（木）15：30～17：45

◆会 場 愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール

◆スケジュール 15：30－15：35 開会挨拶（大橋愛媛大学長）（5分）
 15：40－17：10 事例報告（各30分／計90分）
 報告①15：40－16：10 日向野 幹也（早稲田大学総合研究センター教授）
 報告②16：10－16：40 村山 孝道（京都文教大学教務課長）
 報告③16：40－17：10 村田 晋也（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室講師）
 17：15－17：45 パネルディスカッション・質疑応答（30分）

※司会進行 小林直人 学長特別補佐

FD/SD シンポジウム

プログラム番号 2503G

New!!

経験を学びに変える教育と能力開発

■講師



日向野 幹也(早稲田大学 大学総合研究センター 教授)

1978年東京大学経済学部卒業、1983年同大学院社会科学研究科経済政策専攻博士課程単位取得退学、1984年経済学博士(東京大学)。1984-2005年東京都立大学経済学部勤務(講師、助教授、教授)。2005-2016年立教大学教授、2006年経営学部 BLP を立ち上げ拡充(主査)。2013年全学 GLP 立ち上げ(主査)。アクティブ・ラーニングとリーダーシップ教育の模範事例としてとりあげられる。2016年より早稲田大学でも正課リーダーシップ教育開始。



村山 孝道(京都文教大学 教務課 課長、大学コンソーシアム京都 SD 研修委員会委員長)

1993年3月大正大学仏教学部卒。2016年3月同志社大学にて修士(総合政策科学)取得。2016年3月より同大学院総合政策科学研究科技術・革新的経営専(一貫性博士課程)3年次転入、在学中。研究領域は大学職員の HRM(人的資源管理)論。2016年4月より、大学コンソーシアム京都 SD 研修委員会委員長。大学職員「人間ネットワーク」副会長。2009年より学生 FD 活動に従事。「大学を変える、学生が変わる」(ナカニシヤ出版)を共著。



村田 晋也(愛媛大学 教育・学生支援機構 講師、大学間連携共同教育推進事業 UNGL 事業推進責任者)

平成24年3月九州大学大学院経済学府博士後期課程満期退学。平成22年4月より九州国際大学経済学部助教、平成26年より愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室講師。同年より大学間共同教育推進事業「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム(UNGL)」事業推進責任者として、国内外での実践的な研修を通じて学生の能力開発支援(主にリーダーシップ養成)に取り組んでいる。愛媛大学リーダーズ・スクール(ELS)責任担当教員。専門は、組織論、人的資源管理、リーダーシップ論。

コーディネーター: 小林 直人(愛媛大学 学長特別補佐、教育・学生支援機構教育企画室長、医学部総合医学教育センター長、教授)

■プログラム概要

これまで、企業等における人的資源開発の分野では、経験や体験を学びに変える人材育成手法の効果性に広く注意が向けられてきました。また、この体験学習の手法は、学校教育においても以前から用いられてきました。とくに近年では、就職に先立ち、実社会で有用となる実践的な知識や能力を大学在学中に体得しておくよう求められていること等を背景に、大学においても様々な経験をし、そこで得た気づきを学びに変えること、またそうする力を会得することが学生に期待されています。他方で、「経験を学びに変える」と一口で言っても、その実際は多種多様であり、実践に際しては程度や効果性を考慮しつつ、適切なものを選択的に用いる必要があることも事実です。

そこで、本シンポジウムでは、「経験を学びに変える教育と能力開発」というテーマを設け、これに取り組む大学や大学間連携事業の事例を考慮しつつ、大きく次の2つのアプローチからその現状と課題を共有することを目的とします。すなわち、(1)どのように学生の経験を主体的な学びに変えることができるか、(2)学生の学びを支援する教職員にはどのような能力開発が求められるかという2点です。具体的には、「学生の経験を学びに変えるための工夫」「経験をベースにした学習を進めていく上での課題と注意点」「経験を学びに変えるためにリフレクションをどのように用いるか」「教職員自身はどのように自分の経験を学びに変えることができるか」等の論点を検討することで、参加者諸氏の役に立つ情報の提供を目指します。なお、当日は3名のシンポジストによる実践事例の報告、その後、質疑応答及びパネル・ディスカッションを行う予定です。

■主な受講対象

教員、職員、その他 SPOD フォーラム 2016 に参加される全ての方のご出席を歓迎いたします。

■本プログラムの到達目標

1. 学生の経験を学びに変える工夫・手法・注意点について、事例を交えて紹介できる。
2. 学生の学びを支援する教職員にはどのような能力が求められるかを説明できる。
3. 学生の主体的な学びを促進する教職員能力開発のアイデアについて説明できる。

■日時・会場

日時: 平成28年8月25日(木) 15:30~17:45

会場: 愛媛大学城北キャンパス

(別紙 1)

SPOD フォーラム 2016 展示スペース等の設置について

1. 目 的：「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）」におけるこれまでの取組や、SPOD加盟校の取組の成果物などの展示や、資料を配付することにより、広く取組を周知する。
2. 場 所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B 303講義室
3. 実施期間：平成28年8月24日（水）～8月26日（金）
※SPOD フォーラム 2016 の開催に併せ実施
4. 実施方法：SPODの取組による成果物の展示、及びSPOD紹介DVDの放映等を行う。
また、SPOD加盟校からも取組の成果物や配付資料等を事前に送付してもらい、展示等を行う。
5. 募集方法：SPOD事務局より、取組の成果物の展示・配付希望の調査を行う（7/10㍻切）。
※募集が多数の場合は、会場の都合でお断りすることもある。
6. 展示種別：教材、報告書、パンフレット、リーフレット、取組紹介DVDなど
7. 展示等準備：SPODの取組紹介の展示等についてはSPOD事務局が準備を行う。また、各加盟校の展示物等も、SPOD事務局にて行う。なお、展示物等は、着払いでSPOD事務局（愛媛大学教育企画課）に送付する。
8. 展示物の返却：各加盟校から提供いただいた展示物等は、希望があればSPODフォーラム終了後、返送する。



主催 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

経験を学びに変える

SPODフォーラム2015

学びの成果をどう可視化するか？

「2016」に変更

2015年 8/26 (水) ▶ 28 (金)

2016年8/24(水)▶26(金)に変更



写真差替

会場：愛媛大学城北キャンパス

▶ MAPを見る

参加費：SPOD加盟校の教職員 無 料 / SPOD加盟校以外の教職員 7,000円

(*情報交換会費は除く)

申込受付期間 ※事前申込制(先着順)

6月23日(木)正午~7月8日(金)正午

7月14日(木)正午~7月28日(木)正午 に変更

SPOD加盟校の教職員限定受付：6月26日(金)正午~7月10日(金)正午

一般受付(SPOD加盟校の方も申込可)：7月14日(火)正午~7月28日(火)正午

※「SPOD加盟校の教職員限定受付期間」に加盟校以外の教職員が申込みされた場合は、受講登録ができませんので、あらかじめご了承ください。

※SPOD加盟校＝四国地区の全大学・短期大学・高等専門学校

チラシ差替



セミナーお申込みフォーム

手順

1. セミナーお申込みフォームから参加希望のプログラムをお申込みください。
2. すぐにSPODフォーラムお申込み内容確認メール(自動配信)が送信されます。
3. SPOD事務局において、先着順に各プログラムの人数を確定し、改めて、受付完了メールをお送りします。
4. お申込者が受付完了メールを受信後、申込みが確定されます。

※申込み内容に変更がある場合は、SPOD事務局(spod@stu.ehime-u.ac.jp)まで、メールにてご連絡ください。申込フォームから、登録プログラムの変更・取消はできません。8月11日(火)以降は、キャンセルのご連絡のみ承ります。

※SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、SPOD加盟校以外の皆様には、参加費として一律7000円徴収させていただきます。参加費は、受講後お送りする振込用紙にてお支払いください。

目立たせる

8月9日(火)以降

▼ 個人情報等についてご入力ください。

*は必須項目です。

※旧字体、機種依存文字の入力は、データが正常に表示されないことがありますのでご注意ください。

学校種*	☐ 大学 ☐ 短期大学 ☐ 高等専門学校 ☐ その他
学校名*	国立 ▼ 地区名を選択▼…北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄
学校の所在地*	↓ 都道府県名を選択 ▼ 都道府県名を選択 ▼
所属*	例：〇〇学部〇〇課
職種*	☐ 教員 ☐ 職員 ☐ 学生／大学院生 ☐ その他
職名*	例：教授(課長)
お名前*	例：愛媛 太郎 (姓と名の間に全角スペースを入れてください)

フリガナ* (全角入力)		例: エヒメ タロウ (姓と名の間に全角スペースを入れてください。)
電話番号* (半角入力)		例: 01234567899 (携帯可, ハイフンなし)
E-mail*		
E-mail* (再入力)		
大学教職員等の経験年数*	年	例: 10
年齢	☐ 20歳未満 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳以上	
備考欄 (120文字以内)		

▼ SPOD加盟校(四国)以外の大学に所属の方は、受講後振込用紙を送付いたしますので、必ず以下をご記載ください。

※旧字体、機種依存文字の入力は、データが正常に表示されないことがありますのでご注意ください。

振込用紙送付先	☐ 自宅 ☐ 勤務先	
送付先の郵便番号		(ハイフンなし) 例: 7908577
送付先の住所		(都道府県名から記載)
送付先の所属		例: 愛媛大学教育学生支援部教育企画チーム

▼ 参加希望の各セミナーを下記表から選択してください。※同一時間の複数選択はできません。

▶ セミナーお申込フォームの入力方法

▶ 過去の研修資料等

※資料については、講師に許可されたもののみ掲載しています。

▶ フォーラム2015シラバス

2016に変更

・・・連続受講が必須のプログラムです。

※ **FD** **SD** 等の表示は、~~教員、職員を限定するものではありません。~~

※ セミナー名称をクリックすると詳細情報が拡大表示されます。うまく表示されない場合は、詳細情報をご覧ください。

プログラム区分を記載しておりますが、主な受講対象は各プログラムの「シラバスPDF」をご確認ください。

リセット

8月26日(水)		8月27日(木)		8月28日(金)			
8月26日(水) -1日目-							
受付開始 9:00 ~ 全体受付会場:[法文学部講義棟101講義室]							
SPODフォーラム2016のプログラムに変更							ズ
法文学部講義棟							
時間	302講義室	303講義室	304講義室	403番教室	404講義室	AL2	305講義室
	FD	SD	FD・SD共通	FD	FD	FD・SD共通	
	2601A	2601B	2601C	2601D	2601E	2601F	
	学生の学習意欲を促進する	研究支援職員としての基礎	社会連携系職員養成プログラム	学生の学びやすさと学習意欲を高める	大人数講義法の基本	教学IRにおけるリサーチ・クエスチ	

1時限	10:00 ～ 12:00	RESET	授業設計NEW 川瀬和也 (徳島大学) 【定員:32名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	知識-ゼロから始める研究者との協働- 宮内卓也 (高知大学) 【定員:28名】 シラバスPDF	レベルⅠ「地域特性論」-地方創生・地域資源を活用した地域の活性化-New 坂本世津夫 (愛媛大学) ※SPOD-SDマップに基づき開講されるプログラムです。 【定員:40名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	める授業設計-課題分析図の活用-New 仲道雅輝 (愛媛大学) 【定員:32名】 シラバスPDF ※自身の授業シラバスをご持参ください。 定員に達したため、申込みは締め切りました。	小林直人 (愛媛大学) 【定員:60名】 シラバスPDF ヨシの作り方-教育改善の実現に向けて-New 川那部隆司 (立命館大学) 【定員:36名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	
2時限	13:00 ～ 15:00	RESET	FD 2602A 理系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン 吉田博 (徳島大学) 梶原暢久 (芝浦工業大学) 【定員:30名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	SD 2602B チームワーク入門「目の前の仕事をこなす」からのステップアップ-New 岡靖子 (愛媛大学) 【定員:40名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	SD 2602C 成支援-New 岡靖子 (愛媛大学) 【定員:40名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	SD 2602D チーム力向上-自己理解・他者理解に役立つ視点の提供-New 杉本洋一 (香川大学) 【定員:20名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	FD・SD共通 2602E のIR活用 中井俊樹 清水栄子 (愛媛大学) 【定員:60名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	FD・SD共通 2602F 養成分プログラム レベルⅠ①「外国人受入入門」-留学生の受入 Auto Z-New 塩川雅美 (摂南大学) ※SPOD-SDマップに基づき開講されるプログラムです。 【定員:36名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。
3時限	15:30 ～ 17:30	RESET	FD 2603A ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方 村田晋也 (愛媛大学) 【定員:20名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	※連続受講必須のプログラムの受講を希望の場合、同一時間帯に実施する他プログラムの受講はできません。ご注意ください。	FD・SD共通 2603C ケースで学ぶ大学リーダーシップ-New 中島英博 (名古屋大学) 【定員:40名】 シラバスPDF	FD・SD共通 2603D 事例報告「学習成果の可視化にむけて」-New 小西敏雄 (松山東雲女子大学) 坪井泰士 (阿南工業高等専門学校) 平尾智隆 (愛媛大学) 【定員:40名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。	※連続受講必須のプログラムの受講を希望の場合、同一時間帯に実施する他プログラムの受講はできません。ご注意ください。	FD・SD共通 2603F 国際連携系職員養成プログラム レベルⅠ②「海外派遣入門」-New 塩川雅美 (摂南大学) ※SPOD-SDマップに基づき開講されるプログラムです。 【定員:36名】 シラバスPDF 定員に達したため、申込みは締め切りました。

SPODフォーラム2016のプログラムに変更

			め、申込みは 締め切りまし た。		め、申込みは 締め切りまし た。
SPODフォーラム2016のプログラムに変更					
17:40 ～ 19:00	ポスターセッション 法文学部講義棟201講義室 ※見学自由(ポスター出展申込については、別途案内済)				

▼ 情報交換会について

SPODフォーラムでは、**8月27日(木)**に**情報交換会**を用意しております。

SPODフォーラムの趣旨の1つに、組織を越えた意義のある「相互交流・関係づくりの場の提供」を掲げています。フォーラムには、講師の方をはじめ、国立・公立・私立、大学・短大・高専の多数の教職員や学生が参加されますので、相互交流や関係づくりを行うことができます。

情報交換会は、ビュッフェスタイルの夕食を食べながら、情報交換・人脈づくりができる場です。所属組織を越えた、意義あるネットワークづくりの場ですので、是非ご参加ください。

*は必須項目です。

情報交換会*	日 時: 平成27年8月27日(木) 18:15～20:15
	会 場: 愛媛大学大学会館1階
	会 費: 4,000円(事前申込制 全体受付時に支払ってください。)
	☐ 参加する ☒ 参加しない

▼ 本フォーラムの実施にあたり参考とするため、下記の事前アンケートにお答えください。

*は必須項目です。

SPODフォーラムの参加は何回目ですか？*	1回目 ▼
SPODフォーラムについてどこで知りましたか？* (複数選択可)	☐ SPODホームページ ☐ SPODメールマガジン ☐ SPODフォーラムチラシ ☐ SPOD研修プログラムガイド2015 ☐ SPOD関係者からの案内 ☐ その他
SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？* (複数選択可)	☐ 自分自身の能力開発のため ☐ 組織の課題を解決するヒントを得るため ☐ 組織を超えた人脈づくりのため ☐ FDやSDに関する情報収集のため ☐ 上司に参加をすすめられたため ☐ その他
シンポジウムのパネリストに質問したいこと、など (700文字以内)	
各プログラムで学習したいこと、 期待していること、など (500文字以内)	
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？	☐ FDの実施担当者 ☐ SDの実施担当者 ☐ FDとSD両方の実施担当者 ☐ FDやSDの実施担当者ではない

項目を追加

個人情報の取扱いについて

SPOD事務局では、個人情報の保護に努めております。ご記入いただいた個人情報は、SPOD事務局で管理し、SPODフォーラムの参加に関する確認・連絡及び受講者名簿(氏名、所属、職種のみ)の作成・配布以外には使用しません。

「※台風や地震等の災害により開催が困難とされる場合、やむを得ず中止または延期することがございます。」と記載する。

お申込み内容確認メールが自動送信されるように設定しております。お申込み内容確認メールが届いていない場合には、お手数ですが、SPOD事務局(spod@stu.ehime-u.ac.jp)まで連絡をお願いいたします。

SPODフォーラム 2016 アンケート（個別プログラム用）

機械で読み取りますので、筆記用具は 鉛筆かシャープペン を使用してください。
 あてはまる番号を 塗りつぶして ご回答ください。訂正する場合は 消しゴム でよく消してください。
 回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で
 使用することはありません。

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

- ① 大学 ② 短期大学 ③ 高等専門学校 ④ その他（ ）

(2) 所属先の設置者

- ① 国（国立大学法人） ② 地方自治体（公立大学法人を含む）
 ③ 学校法人 ④ その他（ ）

(3) 所属先の所在地

- ① 四国 ② 北海道 ③ 東北 ④ 関東
 ⑤ 中部 ⑥ 近畿 ⑦ 中国 ⑧ 九州・沖縄

(4) 職種

- ① 教員 ② 職員 ③ 学生 ④ その他（ ）

2. この研修について

- ④ そう思う ③ どちらかといえばそう思う ② どちらかといえばそう思わない ① そう思わない

設 問		回 答			
(1)	研修目的や内容についてある程度知った上で参加した	④	③	②	①
(2)	研修は自分の業務に生かせる内容だった	④	③	②	①
(3)	研修の到達目標が明確に示されていた	④	③	②	①
(4)	研修はわかりやすい順序ですすめられた	④	③	②	①
(5)	講師の言動は学習意欲を高めた	④	③	②	①
(6)	自分に必要な知識やスキルを身につけることができた	④	③	②	①
(7)	受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う	④	③	②	①
(8)	研修は全体的に満足できるものだった	④	③	②	①

3. この研修を受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

4. この研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

テーマカラーを緑に変更

「2016」に変更

SPODフォーラム2015アンケートフォーム

資料 2 - 8

SPODフォーラム2015へご参加いただき、ありがとうございました。
フォーラム全体について、率直なご意見をお聞かせください。

1. SPODフォーラムでの研修成果について

SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

所属組織を越えて人脈を広げることができた

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

業務や教育に対する意識や考え方が変わった

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

2. 感想、ご意見、ご要望等

SPODフォーラムに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

SPODフォーラムをよりよいものとするために改善点があれば、具体的にお書き下さい。また、開催日程や会場等についてご要望がございましたら、あわせてお書き下さい。

SPODフォーラムで開講してほしい研修プログラムがあれば、具体的に内容をお書き下さい。

SPODの事業全般についてご意見やご要望があれば、自由にお書き下さい。

3. 参加者ご自身について

所属先	☐ 大学 ☐ 高等専門学校	☐ 短期大学 ☐ その他
所属先の設置者	☐ 国(国立大学法人) ☐ 学校法人	☐ 地方自治体(公立大学法人を含む) ☐ その他
所属先の所在地	四国	
職種	☐ 教員 ☐ 学生	☐ 職員 ☐ その他
大学教職員等の経験年数	年 例: 10	
SPODフォーラムの参加は何回目ですか?	1回目	
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか?	☐ FDの実施担当者 ☐ SDの実施担当者 ☐ FDとSD両方の実施担当者 ☐ SDの実施担当者ではない ☐ FDやSDの実施担当者ではない	

確認画面へ

リセット

「回答いただいた内容は、今後のSPOD事業改善のための分析・研究に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。」と記載する。

「2016」に変更

SPOD フォーラム 2015 アンケートフォーム

アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた皆様の貴重なご意見を踏まえ、来年度のフォーラムの改善に役立てたいと存じます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

[トップページへ](#)

SPODフォーラム2016 ポスターセッション申込み一覧

分類A：経験学習，分類B：FD／SD一般

平成28年6月10日現在

分類	テーマ	代表発表者		共同発表者所属・氏名 ※代表発表者と同機関の場合は所属を省略						
		所 属	氏 名							
B	理工系分野におけるFDプログラム開発と今後の展望	芝浦工業大学	榊原暢久	徳島大学 吉田博						
B	男女共同参画推進に関する学生への意識啓発	松山東雲短期大学	桐木陽子	愛媛大学 郡司島宏美						
B	福岡歯科大学におけるディプロマポリシー・学士力の認知度について	福岡歯科大学	内田 竜司	児玉 淳	赤間 尚希	川辺 里美				
B	初年次教育への導入を通じたALの全学的普及の取組	徳島大学	新原 将義	久保田 祐歌	吉田 博					
B	比治山大学IR委員会における職員育成に係る取組み	比治山大学	松村 さとみ	松村 敏博						
A	低年次を対象とした東京PBL合宿の効果検証(サービスラーニング)	高知大学	杉田 郁代	塩崎 俊彦	池田 啓実					
A	全学必修科目「地域学実習I」実施による学生の意識変化	高知県立大学	一色 健司							
A	体験学習の体系化 ―教職協働による仕組みづくり―	桃山学院大学	高良 要多							
B	職員IRフォーラム(SIR)の実践報告	淑徳大学	荒木 俊博	金沢大学 上畠 洋佑						
B	正課科目における成績と分野横断的能力との相関分析	阿南工業高等専門学校	松本 高志	小松 実	山田 耕太郎	川畑 成之	太田健吾	菊池 弥生		

ジャンル	No.	プログラム名	希望 状況	H28 開催 校数	H28 第2 希望 校数	H28 第3 希望 校数	H27 開催 校数	H26 開催 校数	H25 開催 校数	H24 開催 校数	H23 開催 校数	講師所属				
												愛媛大学	徳島大学	阿南 高専	高知大学	香川大学
コンピュータ・ デザイン	1	SPOD課題発見コンサルテーション ※ 2023年度は、SPOD・SPOD-ROADの取組と連携し、希望者限定で実施する。		1								愛媛県内担当（小林道）	徳島県内担当		高知県内担当	香川県内担当
	2	学生の学びを促すシラバスの書き方					1	2			1	小林伸道	宮田		徳島立川保野	喜城
	3	グラフィック・シラバスの作成方法	H23～なし										宮田		立川	
	4	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン（ID）入門 ～ARCS 知識・力・感情の活用～			2		1		1			仲道				
	5	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？			3	1	2	3								
	6	大人数講義を魅力的にするテクニック		1	1	1	1	1		1		小林	川野・上岡		徳島立川保野・杉田	喜城・佐藤
	7	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン		1	1								久保田		保野	西本
	8	学生が動く・変わる・活き活きするグループワークの進め方		2	2	1				3	2	小林			徳島立川保野	西本
	9	ティーチング・ラーニングに際するアクティブラーニングの手法 ～物理、化学の美 感例より～（新規）		2	2										立川2	
	10	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計～課題分析図の活用～					2					仲道				
プログラム 開発	11	効果的なeラーニングの活用方法		1	2	1	1					仲道			立川	
	12	基礎から学ぶ学習評価法	H28希望なし					1	1				宮田・川野・吉田・上岡		保野	佐藤
	13	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り			2	1	2					小林忠・加地			立川・杉田	
	14	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりのポイント（新規）		1	1	1									杉田・立川	
	15	授業アンケートを見直しませんか？～アンケートの効果的実施と活用方法～			1	1		1		2					徳島立川保野	
	16	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～		1	1	1	1	1		1	3	小林道・清水	久保田			
	17	高専生を元気にする学生指導法のコツ		1						3				坪井		
	18	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	H28希望なし				1	1						坪井		
	19	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	H28希望なし				1	2						坪井		
	20	今すぐ役立つ授業Tips アクティブラーニングのスタート		2		1	1							坪井3		
業務改善	21	講義VTR簡単作成ワークショップとアクティブラーニングへの活用（新規）		1	2	1								坪井		
	22	大学職員のための企画力養成講座	H28希望なし					1	1	2	3	阿部・仲道・清水・丸山				
	23	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	H28希望なし					2	3			阿部・仲道・清水・丸山				
	24	インストラクショナル・デザイン（ID）教育設計を活用した企画・立案マネジメント	H28希望なし				1					仲道			立川	
	25	教職員のためのPowerPoint ～30分でマスターするppt、プレゼン資料からポスター作成まで～	H28希望なし				1	1	2						立川	
	26	教職員のためのプレゼンテーション～説得力のある話し方、組み立て方～			1	1	1					仲道			立川	
	27	コーディネート力養成講座			1	1	1									
	28	プロジェクト・マネジメント入門	H28希望なし				1					丸山				
	29	マインドマップ入門講座（3時間）	H28希望なし					1							保野	
	30	大学組織を理解する（新規）		2								中井2				
人材育成・ 人事制度	31	後輩の成長を促すコーチング（新規）		1								小林忠・清水				
	32	円滑な会議運営のためのファシリテーション入門（新規）	H23～なし									清水・小林忠				
	33	リーダーシップ入門（新規）	H23～なし									村田・丸山				
	34	チームビルディング（新規）			2							村田				
	35	身近なデータを活用した教育改善（新規）		2	1	1						清水・加地			杉田	
	36	組織の力を引き出す観察力養成講座（新規）			1							仲道				
	37	スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に輝くために～	H28希望なし					1	1			阿部・清水・丸山				
	38	持続可能なSDプログラムの開発手法									1	阿部・丸山				
	39	人事人材育成ビジョンの必要性				1						阿部・丸山				喜城・佐藤
	40	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ			1	1	1	1		3					徳島立川	
学生支援	41	学生の主体性を促す学習支援（新規）		3	2							清水3				
危機管理 事例紹介	42	事例から考えるハラスメント		1	1	3						吉田・倉田				
	43	学生が輝くFDの実践事例		1			1				1	小林道			徳島立川保野	

H28希望なし2校：鳴門教育、香川高専8

- H28 第1～第3希望のなかったプログラム…・107プログラム
- H28 第1希望2校…・4プログラム
- H28 第1希望3校…・1プログラム（学生の主体性を促す学習支援）
- H28 第1希望のなかったプログラム…・27プログラム
- H28 第1希望1校…・11プログラム
- H28 第1希望2校…・4プログラム
- H28 第1希望3校…・1プログラム（学生の主体性を促す学習支援）
- H28 第1希望のなかったプログラム…・27プログラム

平成28年度SPOD事業の定量的指標達成度一覧(案)

【上位目的】学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった
「高等教育のプロフェッショナル」を四国から輩出する

【目的】 四国地区の大学及び高等専門学校連携・協働により、
地区内のFD/SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図る

1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校教職員数)		
③参加校数(実数)		
④満足度		

1-2)SPOD内講師派遣の実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校教職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

1-3)FD・SDに関する調査・研究
1-4)SPOD将来構想ワーキンググループ
1-5)情報提供サービス

- ・研修プログラムガイドの発行
- ・SPOD活動報告書の発行
- ・SPODホームページの管理・更新
- ・メールマガジンの発行

SPODホームページ	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
⑤トップページ閲覧数		
⑥PDF資料等ダウンロード数		

※H28.4.1～H29.3.31の数値

2. FD事業

2-1)FD担当者研修の実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校教職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

2-2)新任教員研修の実施・公開	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校教職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

2-3)ティーチング・ポートフォリオ 作成WSの公開・実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校教職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

2-4)各種FDプログラムの開発・実 施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校教職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

3. SD事業

3-1)大学人・社会人としての基礎 力養成プログラムの実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

3-2)次世代リーダー養成ゼミナ ールの実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		-

3-3)職員のための講師養成講座 の実施	達成度 ^{※1} (5段階)	前年度比(%)
①プログラム数		
②参加者数(定員・加盟校職員数)		
③参加校数(延べ・実数)		
④満足度		

4. SPOD運営

4-1)各種会議の実施
・総会
・ネットワーキングコア運営協議会
・事業評価委員会
・監査
・その他 FD/SD分科会
SPOD加盟校県内会議

(表の見方) ※詳細な数値は別紙参照

番号	目標値	実績	達成度 ^{※1} (5段階)	達成率 (%)
①	研修者数プログラム数 (単位:件)	実施プログラム数		
②	加盟校教職員数 (単位:人)	参加者数(延べ数)		
③	SPOD加盟校 (単位:法人)	参加校数(延べ数)		
④	満足度目標率 (単位:%)	事後アンケート 満足度		
⑤	トップページ閲覧目標 (単位:件)	トップページ閲覧数		
⑥	PDF資料等ダウンロード 目標数(単位:件)	PDF資料等ダウン ロード数		

※2:平成27年度学校基本調査(H27.5.1現在)の常勤教職員

1. SPOD共通事業

1-1)SPODフォーラムの実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	38			39	5
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	7035			1,661	1,507
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	22
④満足度	100			100	93

(参考:加盟校外(外数))

1-2)SPOD内職師派遣の実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	22			22	5
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	7035			805	697
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	31
④満足度	100			100	96

SPODホームページ				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
⑤トップページ閲覧数	70,000			70,000	71,082
⑥PDF資料等ダウンロード数	7,000			7,000	9,150

※H28.4.1～H29.3.31の数値

3. SD事業

3-1)大学・社会人としての基礎力養成プログラムの実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	5			5	5
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	220 2367			230 186	4
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	40
④満足度	100			100	17

3-2)次世代リーダー養成セミナーの実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	4			4	4
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	120 2367			162 158	5
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	71
④満足度	100			—	—

(参考:加盟校外(外数))

3-3)職員のための履修達成講座の実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	2			2	2
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	30 2367			22 18	4
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	8
④満足度	100			100	100

2. FD事業

2-1)FD担当者研修の実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	1				
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	30 4668				
③参加校数(延べ数) “(実数)	24				
④満足度	100				

未実施

2-2)新任教員研修の実施・公開				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	5			5	5
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	150 4668			150	108
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	24
④満足度	100			100	96

2-3)ディメンション・ポートフォリオ作成WSの公開・実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	5			4	4
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	35 4668			50	28
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	12
④満足度	100			100	97

2-4)各種FDプログラムの開発・実施				参考:平成27年度	
指標	目標値	平成28年度実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)	達成率 ※1 (5段階)
①プログラム数	36			38	36
②参加者数(定員数) “(加盟校教職員数)	1376 4668			1,334	825
③参加校数(延べ数) “(実数)	24			24	92
④満足度	100			100	95

(参考:加盟校外(外数))

(表の見方)

番号	目標値	実績	達成率 ※1 (5段階)	達成率 (%)
①	実施予定プログラム数 (単位:件)	実施プログラム数		達成率 実績 目標値
②	プログラム定員数 (単位:人) 加盟校教職員数 (単位:人)	参加者数(延べ数)		5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:60%以上 1:60%未満
③	SPOD加盟校数 (単位:法人)	参加校数(延べ数) “(実数)		
④	満足度目標率 (単位:%)	事後アンケート 満足度		
⑤	トップページ閲覧目標 数(単位:件)	トップページ閲覧数		
⑥	PDF資料等ダウンロード 目標数(単位:件)	PDF資料等ダウン ロード数		

※2:平成27年度学校基本調査(H27.5.1現在)の常勤教職員

平成28年度徳島大学全学FD推進プログラム 「授業設計ワークショップ」実施要項

1 目 的

各大学における教育の質向上への課題が高まる中、実質的なFDの取り組みを進めるための全学FD推進プログラムの一つとして、本ワークショップを毎年実施しています。このワークショップでは、教育の質向上及び問題解決のための相互交流と日常的な教育改善を重視しています。また、授業について教員同士が学び合う場を提供する事で、教育の質向上のためのコミュニティ形成につながることを期待しています。

2 目 標

1. FD活動の理念、活動計画を理解することができる
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得することができる
3. 授業研究の仕方を理解し、実践することができる
4. FD参加者同士の仲間づくりができる

3 概 要

このワークショップでは、主に授業設計と教育技術に関する理論と実践を学んでいきます。主な活動内容は、シラバスと授業計画の作成、模擬授業です。体験を通して、授業の目的、到達目標の設定、授業実施の留意点、評価方法等について理解し、具体的な授業計画を立て、模擬授業を実施します。これらの活動を通してご自身の授業について考え、振り返ることで、実践的な教育力の向上を目指します。(ワークショップまでにシラバスと授業計画書を一度作成頂くことになります。)

4 実 施 日 平成28年6月18日(土)・19日(日)

5 実施場所 南常三島キャンパス 総合科学部地域連携プラザ2階 地域連携大ホール
(けやきホール) 他

6 研修プログラム 別紙のとおり

7 対 象 者 (1) 徳島大学

- ・学外より、講師または准教授採用後1年以内の教員
- ・学内で、助教から講師または准教授昇任後1年以内の教員
(ただし、所属が研究部以外のセンター等、病院の場合、及びプロジェクト採用などの場合は除く。)
- ・学部等から推薦を受けた者(助教及び教授等)及び希望者
- ・平成27年度「授業設計ワークショップ」欠席者

【参加免除について】以下に該当する場合、参加が免除されます。

- ①学外で同様の研修を受けた場合(他大学等での研修修了者については、研修内容等がわかる資料を提出の上、個別に対応する。ただし、原則「授業参観・授業研究会」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることが望ましい。)
- ②診療業務を主に担当している場合

【研修の代替について】

やむを得ない理由により本研修を欠席する者で、SPOD*の同様の研修に参加した場合は、授業設計ワークショップの代替を認める。(ただし、原則「授業参観・授業研究会」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることが望ましい。)

(2) SPOD*加盟校

SPOD加盟校の大学・短期大学・高等専門学校の新任教員(若干名)

*SPOD=四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

8 参 加 費 無料

9 そ の 他 「授業設計ワークショップ」対象者は、「授業参観・授業研究会」を受講し、その後、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を受講することが望ましい。

※「授業参観・授業検討会」の詳細は、

<http://www.tokushima-u.ac.jp/cue/fd/>をご覧ください。

※「ティーチング・ポートフォリオ」の詳細は、

<http://www.teaching-portfolio-net.jp/>をご覧ください。

10 主 催 徳島大学FD委員会／四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

授業設計ワークショップ日程（第1日目）

日時：平成28年6月18日（土）

場所：南常三島キャンパス 総合科学部地域連携プラザ2階 地域連携大ホール
（けやきホール）

時 刻	内 容	講師・担当者	備 考
9:00-9:30	・受付（けやきホール） ※9:20までにお集りください		7:00AM 徳島市に「大雨警報かつ暴風警報」または「洪水警報かつ暴風警報」が出ていたら中止
9:30-10:00	（1）オリエンテーション ・はじめに（副学長より挨拶） ・進め方とスタッフ紹介 ・研修のねらいと意義	宮田政徳（進行） 副学長（教育担当） 高石喜久 FD委員会委員長 赤池雅史	
10:00-10:30	（2）アイスブレイク「課題・目標設定」 ・参加者自己紹介・交流	上岡麻衣子	
10:30-11:20	（3）講義・ワーク「アクティブ・ラーニング」 ・アクティブ・ラーニングの理論と効果 ・学生の深い学びを促すには	新原将義	
11:20-12:00	（4）講義「成績評価の仕方」 ・成績評価の意義・方法	川野卓二	
12:00-13:00	休憩 各自で昼食		*生協休業
13:00-14:50 〈途中小休憩含む〉	（5）講義・ワーク「よりよい授業実施のために」 ・反転授業の理論と実践 ・学習を省察するポートフォリオの活用 ・シラバス・授業計画書の書き方	金西計英 宮田政徳	
14:50-15:00	休憩		
15:00-16:00	（6）講義・ワーク「実践事例で学ぶ授業 Tips」 ・学生の学習を促す授業方法 ・学生の学習を促す授業実践事例	久保田祐歌	
16:00-16:10	休憩		
16:10-17:45	（7）講義・ワーク「授業計画」 ・シラバス・授業計画書の修正 ・2日目の模擬授業の進め方について	スタッフ全員	
18:00-20:00	交流会（任意参加）	宮田政徳	生協食堂2階

授業設計ワークショップ日程（第2日目）

日時：平成28年6月19日（日）

場所：共通教育4号館202講義室 他

（集合後、模擬授業を実施する教室へ移動します。）

時 刻	内 容	講師・担当者	備考
9:00-9:30	・集合、模擬授業準備 (教材印刷が必要な場合は9:00 集合)	スタッフ	集合：共通教育 4号館202講義室
9:30-12:10	(8) 模擬授業実施（グループで実施） ・FD委員紹介、流れの確認 【模擬授業の流れ】(1人25分×4人（休憩適宜）) ・シラバス・授業計画書等の紹介（5分） ・模擬授業の実施（15分） ・授業検討会（10分） →チェックリストをもとによかった点、改善点等 を検討する。	各班司会：FD委員 ワーク支援： スタッフ全員	〈模擬授業実施手順〉 教室：各班グループ部 屋へ移動
12:10-13:10	休憩 各自で昼食		*生協休業
13:10-13:40	(9) 模擬授業の振り返り ・模擬授業検討会を受けて授業の改善点 ・今後のアクションプラン	川野卓二	共通教育4号館 202講義室
13:40-14:00	(10) 教育力開発コース概要 ・教育力開発コースの意義・内容 ・ティーチングポートフォリオの意義・効果	久保田祐歌 TP作成経験者	
14:00-14:40	(11) プログラムのまとめ ・講評 ・修了証書授与 ・アンケート ・おわりの言葉	FD委員会副委員長 小山晋之 FD委員会委員長 赤池雅史	

平成 28 年度 第 26/27 回 愛媛大学授業デザインワークショップ実施要項

1. 主 催

- 第 26 回 愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室（教職員能力開発拠点）
 第 27 回 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

2. 期 日

- 第 26 回 平成 28 年 7 月 2 日（土）～7 月 3 日（日）いまばり湯ノ浦ハイツ（宿泊研修）
 第 27 回 平成 28 年 8 月 31 日（水）～9 月 2 日（金）愛媛大学城北キャンパス（通い型）
 （同じ内容ですのでどちらか一方の参加となります。）

<第 26 回>

集合・出発時刻 1 日目 8:00 愛媛大学城北キャンパス正門前集合
 8:10 出発（マイクロバスで移動）

※現地までは、原則として、愛媛大学から出発するマイクロバスでの移動をお願いします。

解散時刻 2 日目 15:00 愛媛大学城北キャンパス正門前解散

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

<第 27 回>

集合・開始，終了時刻 1 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，19:30 終了予定（交流会含む）
 2 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，17:00 終了予定
 3 日目 8 時 50 分集合，9:00 開始，13:00 終了予定

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

※上記日程でご都合が合わない方は、徳島大学、香川大学、高知大学においても同様の研修を実施しておりますので、そちらの研修にご参加ください。（詳細は 13 に表示）

3. 場 所

<第 26 回>いまばり湯ノ浦ハイツ

〒799-1525 愛媛県今治市湯ノ浦 23 番地 電話 0898-48-2000

URL: <http://www.yunoura-h.or.jp/>

<第 27 回>愛媛大学城北キャンパス

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番

<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html>

4. 参加対象者（一度参加した者は除く）

- 1) 一昨年度から今年度にかけて大学等に採用された，授業担当または担当予定の教員（授業担当経験 5 年以上を除く）
- 2) 参加を希望する教員
- 3) 愛媛大学テニユア・トラック教員

5. 定員

<第 26 回>20 名程度

<第 27 回>20 名程度

6. 実行委員

弓削 俊洋（実行委員長，教育・学生支援機構長）

小林 直人（学長特別補佐，教育企画室長）

中井 俊樹（教育企画室教授）

仲道 雅輝（教育企画室講師）

清水 栄子（教育企画室講師）

村田 晋也（教育企画室講師）

小林 忠資（教育企画室特定研究員）

加地 真弥（教育企画室特定研究員）

濱元 悠子（教育企画チーム）

7. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には，授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し，参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

8. 目標

- 1) 適切な目的・目標設定ができるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループ作業を、自らの授業で導入することができるようになる。

9. 研修形態

- 1) 体験型研修です。複数のセッションに分かれて、ミニ講義とグループ作業を繰り返します。
- 2) 異なる学部 of 教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) 研修自体がグループ学習形式であり、学生参加型授業を体験します。
- 4) 全員が 10 分間の模擬授業を行います。

10. その他

- 1) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 2) 参加費として、第 26 回（7 月実施）は、13,000 円（宿泊費、食費、交流会費など）、第 27 回（9 月実施）は、5,000 円程度（食費、交流会費など）を当日会場で徴収します。詳細は後日お知らせします。
なお、ご都合により参加できなくなる場合は、1 週間前までに必ずご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費をご負担いただくことがあります。
- 3) 第 26 回（7 月実施）に参加する愛媛大学の教員は、出張扱いとなりますので、各部局の総務担当にお問い合わせ願います。また、愛媛大学正門から会場までのマイクロバスを運行しますので、ご利用ください。
- 4) 当日、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので了承ください。
- 5) 修了証書は、全日程に参加された方の方に授与されますので、あらかじめご了承ください。
- 6) 事前にアンケートをお願いすることになりますのでご協力お願いいたします。

11. お申し込み・問い合わせ

参加申込書（様式 1）によりお申し込みください。

<愛媛大学申し込み・問い合わせ先>

E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp TEL : (089)927-8922 (担当 加地)

12. プログラム日程(宿泊研修の予定)

○第 26 回（7 月実施）スケジュール

9:30 現地到着

時刻	内容
9:30-9:40	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
9:40-10:10	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク
10:10-10:40	(3) ミニ講義Ⅰ 「何が学生の学びを促進するのか」
10:40-11:10	(4) ミニ講義Ⅱ 「シラバスの書き方」 ・目標設定
11:10-11:50	(5) ミニ講義Ⅲ 「コース設計&クラス設計の考え方」 ・1 科目（コース）の授業計画の立て方

11:50-12:00	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・ 目標設定 ・ 授業計画 ・ シラバス作成
12:00-13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00-14:00 (適宜休憩)	(7) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・ 目標設定 ・ 授業計画 ・ シラバス作成
14:00-14:35	(8) ミニ講義Ⅳ「様々な授業方法」 ・ 講義形式のメリット・デメリット ・ 双方向型授業のコツ ・ 体験型授業 ・ 参加型授業
14:35-15:35 (適宜休憩)	(9) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・ シラバス作成 ・ 授業計画と評価計画
15:35-16:10	(10) ミニ講義Ⅴ「学習評価の基本」 ・ 学習評価の目的 ・ 評価の方法と評価対象
16:10-17:10	(11) 中間発表 ・ 発表 3分 ・ コメント 15分
17:10-18:00	(12) ミニ講義Ⅴ「クラス設計」 ・ 90分授業の基本構成 ・ 90分（クラス）の授業計画
18:00-18:30	チェックイン、移動、休憩

第Ⅱ部 1日目（夜）プログラム日程

時刻	内容
18:30-20:00	夕食・交流会
20:00-21:30	(13) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・ 授業計画案作成
21:30-	自由時間・お風呂・お悩み相談
※シラバス&授業計画案の提出（～21:30 まで）	

第Ⅲ部 2日目（朝・昼）プログラム日程

時刻	内容
7:30-8:30	朝食

8:30-10:00	(13) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・ 模擬授業の練習 ※シラバス・フィードバック（スタッフ）
10:00-12:00	(14) 模擬授業 ・ 模擬授業 10 分 ・ 討議・検討 15 分
12:00-12:30	(15) 閉会式 ・ グループ作業の振り返り学んだことは何か？（どう実践に活かすか？） ・ 修了証書授与 ・ 閉会の言葉
12:30-13:30	昼 食

13:45 現地出発予定

※内容等予定は変更になることがございます。

○第 27 回（9 月実施）スケジュール

第Ⅰ部 1 日目（朝・昼・夕）プログラム

時刻	内容
10:00-10:10	(1) オリエンテーション ・ 研修の目的・目標の確認 ・ スタッフ紹介とお願い
10:10-10:50	(2) アイスブレーキング ・ 自己紹介 ・ グループワーク
10:50-11:30	(3) ミニ講義Ⅰ「何が学生の学びを促進するのか？」
11:30-12:30	集合写真撮影・昼食・休憩
12:30-13:05	(4) ミニ講義Ⅱ「シラバスの書き方」 ・ 目標設定
13:05-13:40	(5) ミニ講義Ⅲ 「コース設計&クラス設計の考え方」 ・ 1 科目（コース）の授業計画の立て方
13:40-15:50	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・ シラバス作成 ・ 目標設定 ・ 1 科目（コース）の授業計画の立て方
15:50-16:30	(7) ミニ講義Ⅲ「様々な授業方法」 ・ 講義形式のメリット・デメリット ・ 双方向型授業のコツ ・ 体験型授業 ・ 参加型授業
16:30-17:00	(8) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・ シラバス作成 ・ 授業計画
17:30-19:30	交流会

第Ⅱ部 2日目プログラム日程

時刻	内 容
10:00－10:20	(9) 振り返り・質疑応答
10:20－11:00	(10) ミニ講義Ⅳ「学習評価の基本」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象
11:00－12:00	(11) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・授業計画の作成
12:00－13:00	昼 食
13:00－14:25	(12) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 10分
14:25－15:15	(13) ミニ講義Ⅴ「クラス設計」 ・90分授業の基本構成 ・90分（クラス）の授業計画
15:15－17:00	(14) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画の立て方

第Ⅲ部 3日目プログラム日程

時刻	内 容
9:00－10:00	(15) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・授業の練習
10:00－12:30	(16) 模擬授業（導入の10分） ・授業紹介 ・模擬授業 10分 ・討議・検討 15分
12:30－13:00	(17) 閉会式 ・振り返り（学んだことは何か？どう実践に活かすか？） ・修了証書授与 ・閉会の言葉

※昼食はお弁当を準備いたします。

※一日目の交流会はできる限りご参加ください。

※内容等予定は変更になることがあります。

13. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- 1) 愛媛大学「授業デザインワークショップ」及び以下の徳島大学、香川大学、高知大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク(SPOD)内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。
- 2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学申し込み先にご連絡ください。
- 3) 以下のプログラムは、愛媛大学テニユア・トラック制度におけるPD認定プログラムとして認定されています。受講する際は、別途、旅費等が必要になります。

◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月18日(土)～6月19日(日)

【会場】徳島大学大学開放実践センター2階(6号館 201)

【申し込み先・問い合わせ先】

徳島大学総合教育センター(担当/上岡)

TEL:088-656-7686

E-mail:kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

◆香川大学「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】9月15日(木)～16日(金)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

TEL:087-832-1153

E-mail:gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

◆高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」

【日程】8月30日(火)～8月31日(水)

【会場】高知大学共通教育棟3号館1階310教室

【申し込み先・問い合わせ先】

高知大学学務部学務課

TEL:088-844-8144

E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成28年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）
実施日：平成28年5月9日（月）～5月11日（水）
実施会場：高知大学（朝倉キャンパス）メディアの森3F講義室大
当日参加者数：63名
アンケート回答者数：62名

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	58	93.5
② 短期大学	0	0.0
③ 高等専門学校	4	6.5
④ その他（ ）	0	0.0
計	62	100.0

(2) 所属先の設置者

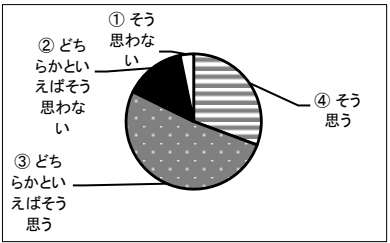
	回答数	割合
① 国（国立大学法人）	50	80.6
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	4	6.5
③ 学校法人	8	12.9
④ その他（独立行政法人）	0	0.0
計	62	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。（具体的に）
別紙記載

2. この研修について

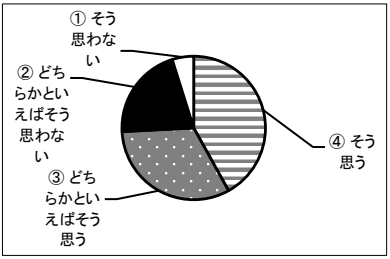
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	19	30.6
③ どちらかといえばそう思う	32	51.6
② どちらかといえばそう思わない	9	14.5
① そう思わない	2	3.2
計	62	100.0



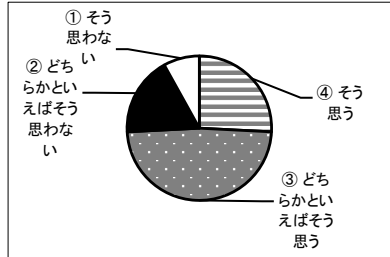
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	26	41.9
③ どちらかといえばそう思う	20	32.3
② どちらかといえばそう思わない	13	21.0
① そう思わない	3	4.8
計	62	100.0



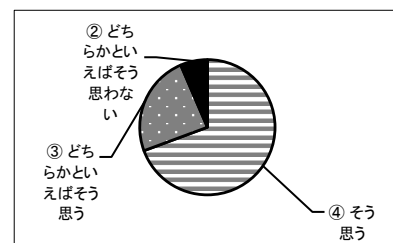
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	16	25.8
③ どちらかといえばそう思う	30	48.4
② どちらかといえばそう思わない	11	17.7
① そう思わない	5	8.1
計	62	100.0



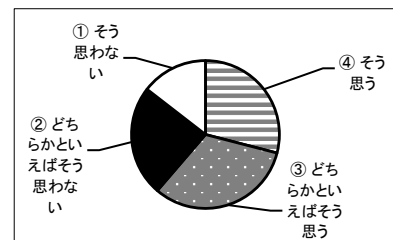
(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

	回答数	割合
④ そう思う	43	69.4
③ どちらかといえばそう思う	15	24.2
② どちらかといえばそう思わない	4	6.5
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



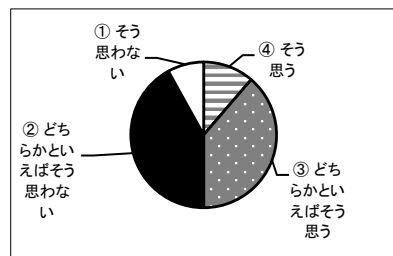
(5) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	18	29.0
③ どちらかといえばそう思う	20	32.3
② どちらかといえばそう思わない	15	24.2
① そう思わない	9	14.5
計	62	100.0



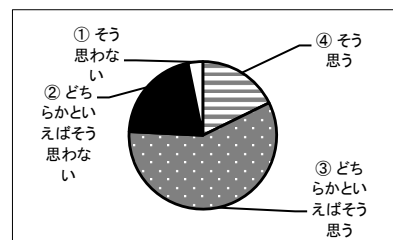
(6) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	7	11.3
③ どちらかといえばそう思う	24	38.7
② どちらかといえばそう思わない	26	41.9
① そう思わない	5	8.1
計	62	100.0



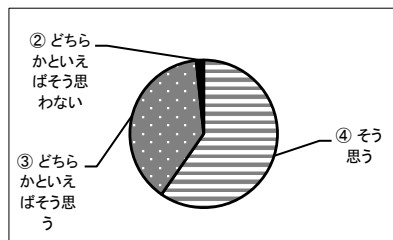
(7) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	11	17.7
③ どちらかといえばそう思う	36	58.1
② どちらかといえばそう思わない	13	21.0
① そう思わない	2	3.2
計	62	100.0



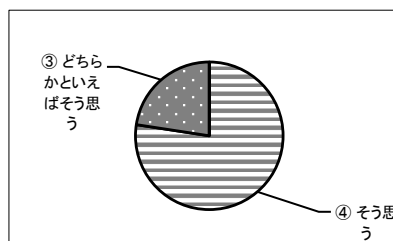
(8) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	37	59.7
③ どちらかといえばそう思う	24	38.7
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



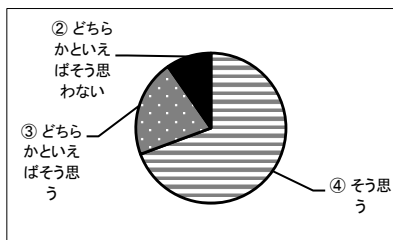
(9) 事務局の対応は丁寧だった

	回答数	割合
④ そう思う	48	77.4
③ どちらかといえばそう思う	14	22.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



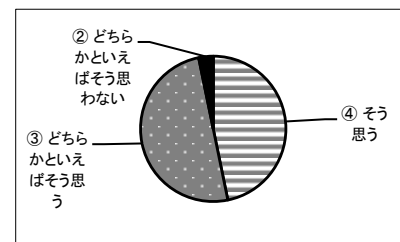
(10) 新たに人的つながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	43	69.4
③ どちらかといえばそう思う	13	21.0
② どちらかといえばそう思わない	6	9.7
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



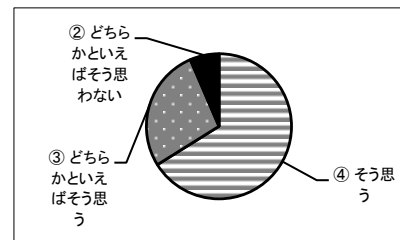
(11) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	29	46.8
③ どちらかといえばそう思う	31	50.0
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



(12) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

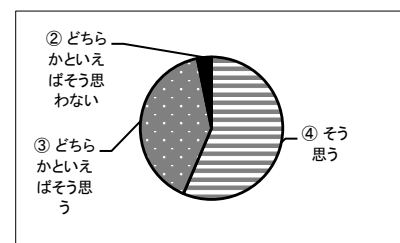
	回答数	割合
④ そう思う	41	66.1
③ どちらかといえばそう思う	17	27.4
② どちらかといえばそう思わない	4	6.5
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



3. 「高等教育職員入門」研修について

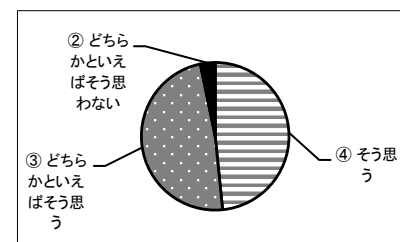
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	35	56.5
③ どちらかといえばそう思う	25	40.3
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



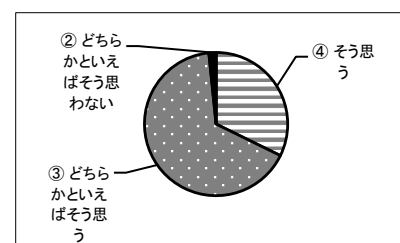
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	30	48.4
③ どちらかといえばそう思う	30	48.4
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



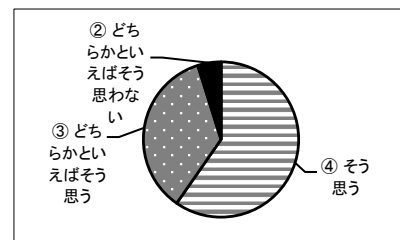
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	20	32.3
③ どちらかといえばそう思う	41	66.1
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



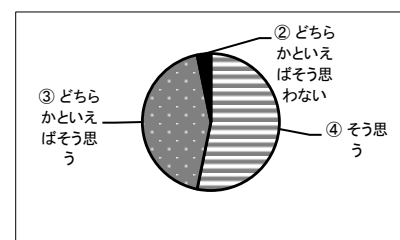
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	37	59.7
③ どちらかといえばそう思う	22	35.5
② どちらかといえばそう思わない	3	4.8
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

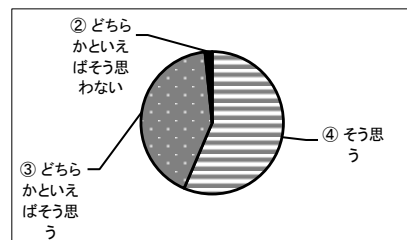
	回答数	割合
④ そう思う	33	53.2
③ どちらかといえばそう思う	27	43.5
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



4. 「メンタルヘルス・セルフケア」研修について

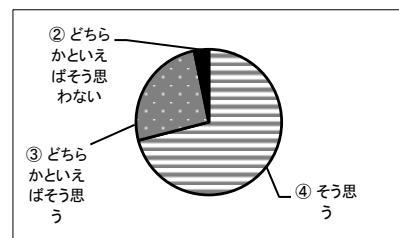
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	35	56.5
③ どちらかといえばそう思う	26	41.9
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



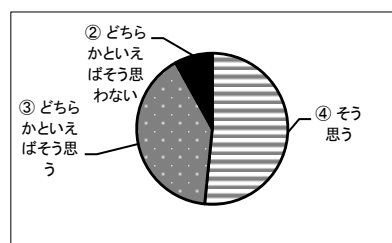
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	44	71.0
③ どちらかといえばそう思う	16	25.8
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



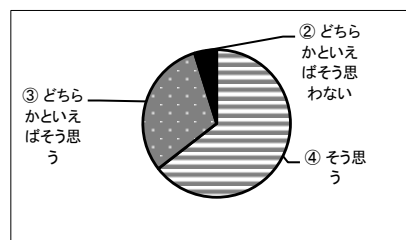
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	32	51.6
③ どちらかといえばそう思う	25	40.3
② どちらかといえばそう思わない	5	8.1
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



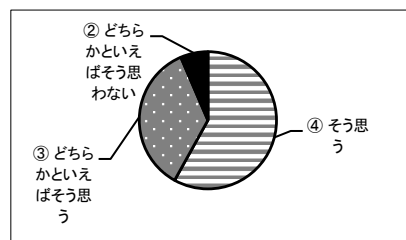
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	40	64.5
③ どちらかといえばそう思う	19	30.6
② どちらかといえばそう思わない	3	4.8
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

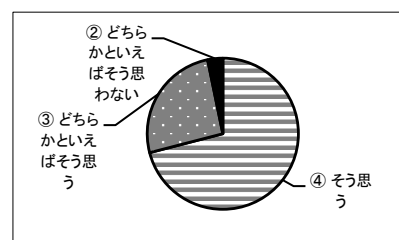
	回答数	割合
④ そう思う	36	58.1
③ どちらかといえばそう思う	22	35.5
② どちらかといえばそう思わない	4	6.5
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



5. 「コミュニケーション入門」研修について

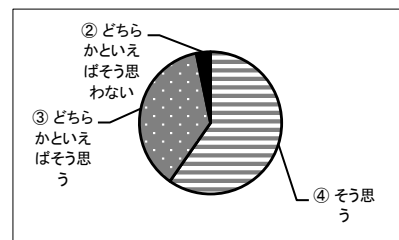
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	44	71.0
③ どちらかといえばそう思う	16	25.8
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



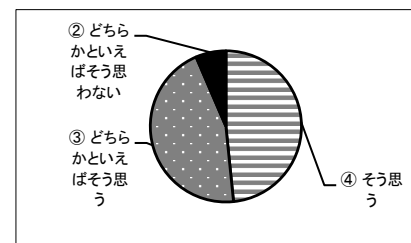
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	37	59.7
③ どちらかといえばそう思う	23	37.1
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



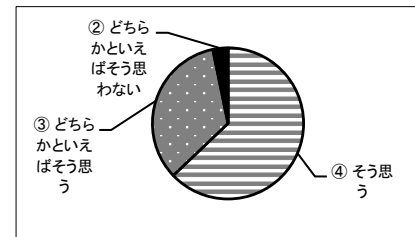
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	30	48.4
③ どちらかといえばそう思う	28	45.2
② どちらかといえばそう思わない	4	6.5
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



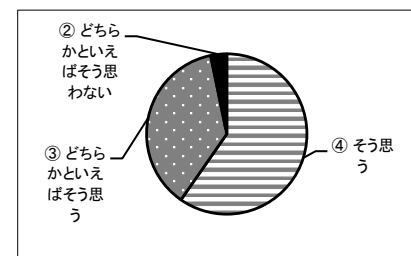
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	39	62.9
③ どちらかといえばそう思う	21	33.9
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

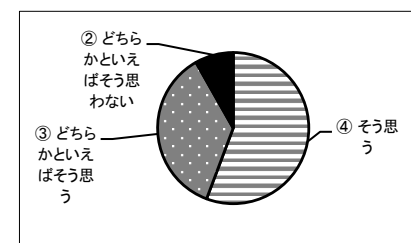
	回答数	割合
④ そう思う	37	59.7
③ どちらかといえばそう思う	23	37.1
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



6. 「キャリア形成入門」研修について ※1名未受講

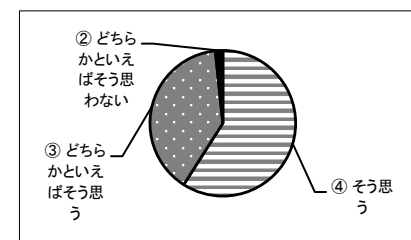
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	34	55.7
③ どちらかといえばそう思う	22	36.1
② どちらかといえばそう思わない	5	8.2
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



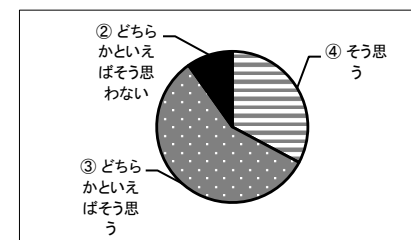
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	36	59.0
③ どちらかといえばそう思う	24	39.3
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



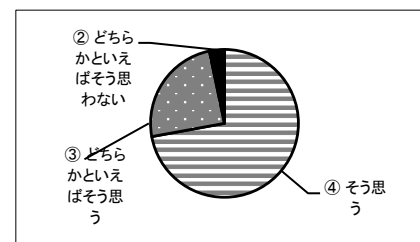
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	20	32.8
③ どちらかといえばそう思う	35	57.4
② どちらかといえばそう思わない	6	9.8
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



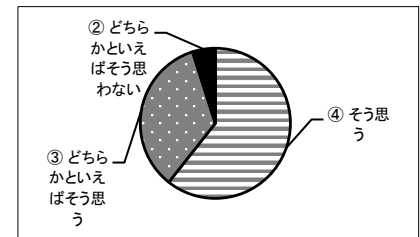
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	44	72.1
③ どちらかといえばそう思う	15	24.6
② どちらかといえばそう思わない	2	3.3
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

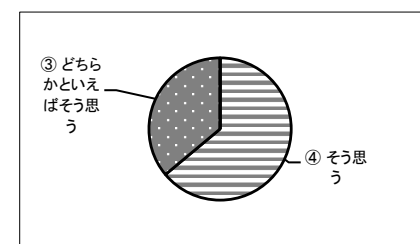
	回答数	割合
④ そう思う	37	60.7
③ どちらかといえばそう思う	21	34.4
② どちらかといえばそう思わない	3	4.9
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



7. 「ビジネスマナー入門(文書編)」研修について ※1名未受講

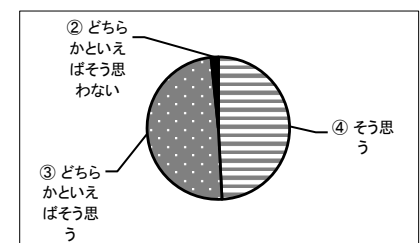
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	39	63.9
③ どちらかといえばそう思う	22	36.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



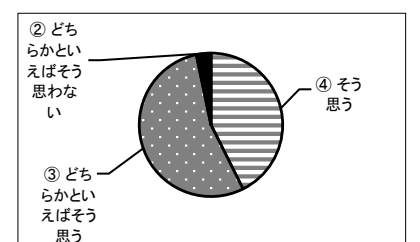
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	30	49.2
③ どちらかといえばそう思う	30	49.2
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



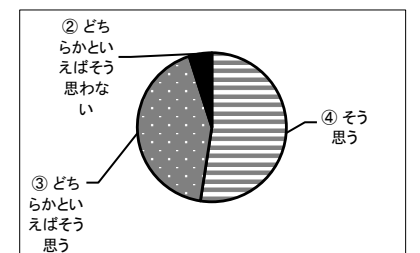
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	26	42.6
③ どちらかといえばそう思う	33	54.1
② どちらかといえばそう思わない	2	3.3
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



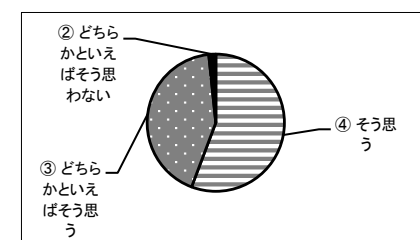
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	32	52.5
③ どちらかといえばそう思う	26	42.6
② どちらかといえばそう思わない	3	4.9
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

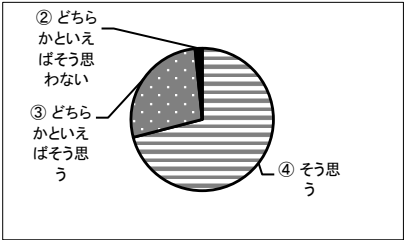
	回答数	割合
④ そう思う	34	55.7
③ どちらかといえばそう思う	26	42.6
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	61	100.0



8. 「ビジネスマナー入門（マナー編）」研修について

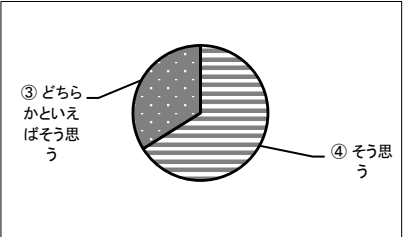
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	44	71.0
③ どちらかといえばそう思う	17	27.4
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



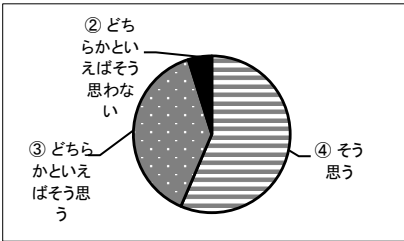
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	41	66.1
③ どちらかといえばそう思う	21	33.9
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



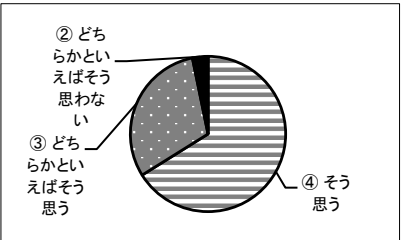
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	35	56.5
③ どちらかといえばそう思う	24	38.7
② どちらかといえばそう思わない	3	4.8
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



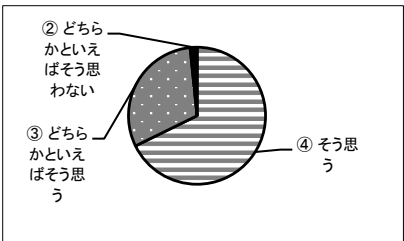
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	41	66.1
③ どちらかといえばそう思う	19	30.6
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

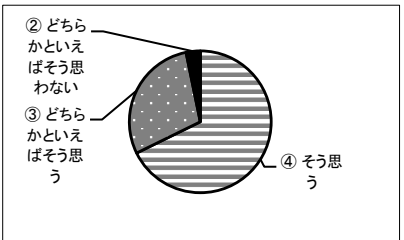
	回答数	割合
④ そう思う	42	67.7
③ どちらかといえばそう思う	19	30.6
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



9. 「危機管理入門」研修について

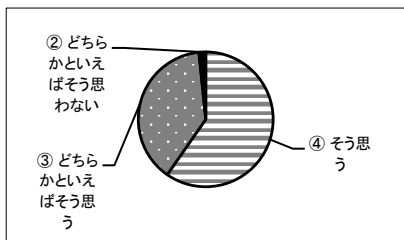
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	42	67.7
③ どちらかといえばそう思う	18	29.0
② どちらかといえばそう思わない	2	3.2
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



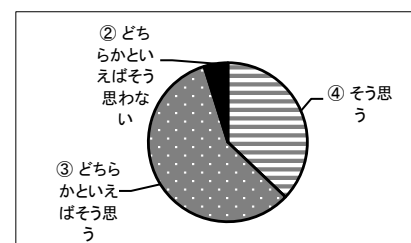
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	37	59.7
③ どちらかといえばそう思う	24	38.7
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



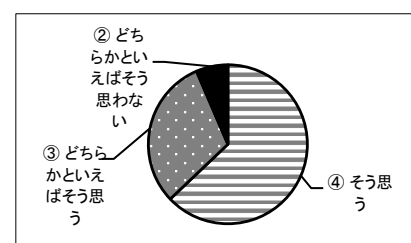
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	23	37.1
③ どちらかといえばそう思う	36	58.1
② どちらかといえばそう思わない	3	4.8
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



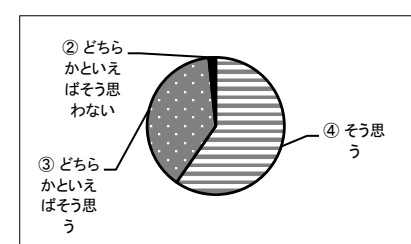
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	39	62.9
③ どちらかといえばそう思う	19	30.6
② どちらかといえばそう思わない	4	6.5
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	37	59.7
③ どちらかといえばそう思う	24	38.7
② どちらかといえばそう思わない	1	1.6
① そう思わない	0	0.0
計	62	100.0



10. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。
別紙記載

11. 研修をよりよいものをするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。
別紙記載

1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- ・ ビジネスマナー (3 4)
- ・ コミュニケーション能力 (1 5)
- ・ 危機管理能力 (1 2)
- ・ 専門知識 (1 1)
- ・ パソコン (エクセル・ワード等) の知識 (9)
- ・ 語学 (3)
- ・ 実務 (3)
- ・ プレゼンテーション能力 (2)
- ・ メンタルヘルス (2)
- ・ キャリア形成能力 (2)
- ・ 指示を明確に聞き行動すること
- ・ 気配り, 配慮
- ・ 自分に自信がなく, 人前で発言することや, 教えたりすることを不得意としているため, キャリアを積んで, 自信につなげ苦手な部分を克服したい。
- ・ 大学法人というものへの理解
- ・ 解らない事を学ぶこと→自信のバックグラウンドの強化。

1 0. 受講して良かったと思われる点を, 具体的にお書きください。

- ・ 普段接することのない方と, 話す機会をもつことができて良かった。(1 2)
- ・ コミュニケーション, ビジネスマナーなど, 具体的な内容を勉強できたこと。(9)
- ・ 社会人としての基本的な心構えを教わることができた。(5)
- ・ 大学職員として必要な知識を得ることができ, 曖昧だったものも再確認できた。(4)
- ・ グループワークを取り入れることで, 講義に集中することができた。(3)
- ・ 他大学の情報をたくさん手に入れることができた。自分の部署で年齢が近い方がいないため, 何かを相談できる仲になれたらいいなと思った。(3)
- ・ 普段何気なくやっていることを見直す良い機会となった。(3)
- ・ 新任職員という同じ立場の方と交流できたこと。(2)
- ・ コミュニケーション, ビジネスマナーなど, 社会人としての基礎スキルを見直すことができ, 自分のキャリアについて改めて考えるきっかけになった。(2)
- ・ 危機管理入門は知らない分野であったため, 有意義だった。(2)
- ・ 大学職員に求められるマナーやスキルについて詳細に知ることができ, 自分の職場においても必要な知識と感じた。(2)
- ・ 報告・連絡・相談・5W1Hなど, 仕事において重要な基本的なところを, 改めて知ることができた。(2)
- ・ 大学職員として働くということを改めて考えることができた。

- ・講義のレベルがちょうど良かった。
- ・社会人経験があるため、今までの自分の価値観や考え方と違う部分を知ることができて良かった。
- ・危機管理やメンタルについて自覚することができた。
- ・これからの仕事に対しての向上心を持つ良い機会となった。
- ・危機管理入門については、すぐに起きる可能性のあるものだということを再確認することができた。
- ・マニュアルについてしっかりと知っておこうと思った。
- ・最後の振り返りは、全日程を思い出すとともに、自分の班以外で話したことを聞くことができて良かった。
- ・職場で見聞きしていたこと（公文書・危機管理等）を具体的に知ることができて良かった。
- ・今まで自己流で不安を感じながらやっていたことの具体的な解決法を授業で得られた。
- ・今の自分の立場ですべき事を考えることができた。
- ・自分に足りない部分を改めて感じることができ、自分の目指したいところが明確になったため、やる気が湧いた。

1 1. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

- ・会場が狭い。（13）
- ・時期的にもう少し早く受講できると、4月からの業務に活かせるという意味で良かったと思う。（4）
- ・休憩時間が短い。（3）
- ・ビジネスマナーの演習をもっとして欲しい。（3）
- ・会場までの交通が不便。（2）
- ・月の上旬及び中旬は前の月の作業が忙しいので、月の下旬に行う方が負担が少なく、参加しやすい。（2）
- ・時間指定があるグループワークにおいて、時間が曖昧で、いつ終わるのか、どこまで話したら良いのかがわからなかった。
- ・全てのセミナーを受講しなくてもいいよう、選択制にして欲しい。
- ・講義のスピードがもっと早くても良いと感じた。
- ・開催曜日の調整（休み明けは仕事が忙しい）。
- ・質疑応答のタイミングが欲しかった。
- ・以前受けていたものと、若干内容が被るものがあつたので、再度受けるよりかは、違う内容のものが良かった。
- ・P C（エクセル・ワード）の講習をして欲しい。
- ・今後も継続的に開催して欲しい。

- 1 コマ 3 時間などみっちり研修できてとても良かったが、もう少し時間が短い方が集中力は持続するのではないかと思う。
- 研究資金の獲得が重要だと学んだが、研究資金の知識がないので、是非教えていただきたい。
- パワーポイントの文字が小さい（多い）。
- 最終日の日程が長いため、帰りのバスがぎりぎりだった。